www.minolta.com

# DiMAGE E203

J 使用説明書

# 目次



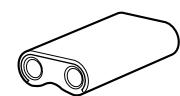
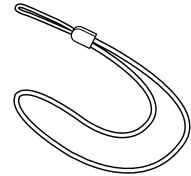
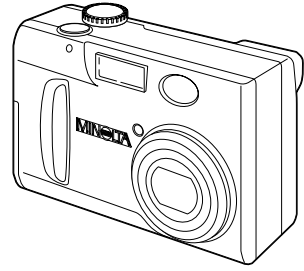


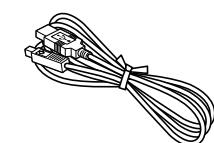
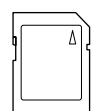
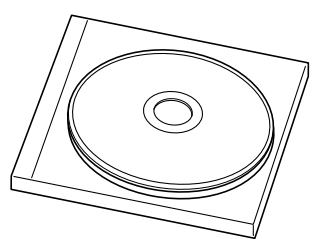
## 内容物の確認

お買い上げのパッケージに梱包されているのは以下の通りです。ご確認の上、不備な点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

カメラ本体
（ミノルタDiMAGE E203）

ハンドストラップ HS-DG203

リチウム電池1個（CR-V3）

8MB SDメモリーカード

USBケーブル USB-400

CD-ROM 2枚（1つのケースに入ってます）
DiMAGE E203用 ソフトウェアCD-ROM 1枚
ArcSoft社 PhotoImpression CD-ROM 1枚

本使用説明書
アフターサービスのご案内
ユーザー登録カード

# 正しく安全にお使いいただくために

お買い上げありがとうございます。
ここに示した注意事項は、正しく安全に製品をお使いいただくために、またあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。よく理解して正しく安全にお使いください。

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が予想される内容を示しています。

**絵表示の例**

△記号は、注意を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は発熱注意）

## ⚠警告

電池の取り扱いを誤ると、液漏れによる周囲の汚損や、発熱や破裂による火災やケガの原因となりますので、次のことは必ずお守りください。

●指定された電池以外は使わないでください。
●電池の極性（＋／－）を逆に入れないでください。
●表面の被膜が破れたり、はがれたりした電池は使用しないでください。
●電池のショート、分解、加熱、および火中・水中への投入は避けてください。また金属類と一緒に保管しないでください。
●新しい電池と古い電池、メーカーや種類の異なる電池、充電状態の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
●アルカリ電池・リチウム電池は充電しないでください。
●充電式電池を充電する場合は、専用の充電器をご使用ください。
●万一電池が液漏れし、液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で洗った後、直ちに医師にご相談ください。液が手や衣服に付着した場合は、水でよく洗い流してください。また、液漏れの起こった製品の使用は中止してください。

**ＡＣアダプターをご使用になる場合は、専用品を表示された電源電圧で正しくお使いください。**
表示以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。

**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁してください。**
他の金属と接触すると発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄するか、リサイクルしてください。

**ご自分で分解、修理、改造をしないでください。**
内部には高圧部分があり、触れると感電の原因となります。修理や分解が必要な場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションにご依頼ください。



## ⚠警告

**落下や損傷により内部、特にフラッシュ部が露出した場合は、内部に触れないように電池を抜き（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。**
フラッシュ部には高電圧が加わっていますので、感電の原因となります。またその他の部分も使用を続けると、感電、火傷、火災の原因となります。お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションに修理をご依頼ください。

**幼児の口に入るような電池や小さな付属品は、幼児の手の届かないところに保管してください。**
幼児が飲み込む原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

**製品および付属品を、幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。**
幼児・子供の近くでご使用になる場合は、細心の注意をはらってください。ケガや事故の原因となります。

**フラッシュを人の目の近くで発光させないでください。**
目の近くでフラッシュを発光すると視力障害を起こす原因となります。

**車などの運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。**
交通事故の原因となります。

**自動車などの運転中や歩行中に撮影したり、液晶モニターを見たりしないでください。**
転倒や交通事故の原因となります。

**ファインダーを通して太陽や強い光を見ないでください。**
視力障害や失明の原因となります。

**風呂場など湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で操作したりしないでください。内部に水が入った場合はすみやかに電池を取り出し（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。**
使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションにご連絡ください。

**引火性の高いガスの充満している中や、ガソリン、ベンジン、シンナーの近くで本製品を使用しないでください。また、お手入れの際にアルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。**
爆発や火災の原因となります。

## ⚠ 警告

**ACアダプターをご使用の場合、電源コードに重いものを乗せたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、傷つけたり、加熱、破損および加工したりしないでください。またコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。**
コードが傷むと火災や感電の原因となります。コードが傷んだら、販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションに交換をご依頼ください。

**万一使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。電池も高温になっていることがありますので、火傷には十分ご注意ください。**
使用を続けると感電、火傷、火災の原因となります。お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションに修理をご依頼ください。

## ⚠ 注意

**車のトランクやダッシュボードなど、高温や多湿になるところでの使用や保管は避けてください。**
外装が変形したり、電池の液漏れ、発熱、破裂による火災、火傷、ケガの原因となります。

**長時間使用される場合は、皮膚を触れたままにしないでください。**
本体の温度が高くなり、低温やけどの原因となることがあります。

**長時間の使用後は、すぐに電池を取り出さないでください。**
電池が熱くなっているため火傷の原因となります。電源を切って温度が下がるまでしばらくお待ちください。

**発光部に皮膚や物を密着させた状態で、フラッシュを発光させないでください。**
発光時に発光部が熱くなり、火傷の原因となります。

**液晶モニターを強く押したり、衝撃を与えたりしないでください。**
液晶モニターが割れるとケガの原因となり、中の液体に触れると炎症の原因となります。中の液体に触れてしまった場合は、水でよく洗い流してください。万一目に入った場合は、洗い流した後医師にご相談ください。

## ⚠ 注意

**ACアダプター使用時は、電源プラグは差し込みの奥までしっかりと差し込んでください。**
電源プラグが傷ついていたり、差し込みがゆるい場合は使用しないでください。火災や感電の原因となります。

**ACアダプターを布や布団で覆ったり、周りに物を置いたりしないでください。**
熱により変形して感電や火災の原因となったり、非常時にアダプターが抜けなくなったりします。

**お手入れの際や長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。**
火災や感電の原因となります



**製品上のマークについて**

このマークは、この装置が情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置であることを示しています。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

このマーク（CEマーキング）は、本製品が電気安全・電波障害に関するEU（欧州連合）の要求事項に適合していることを示すものです。CEとはフランス語のConformité Européenne（ヨーロッパ認定）の頭文字です。

# はじめに

お買い上げありがとうございます。
ミノルタディマージュE203は、高品位でコンパクトなボディに3倍ズーム機能を搭載したデジタルカメラです。フルオート中心の簡単操作により、デジタルカメラを初めてお使いになる方にも、手軽にきれいな画像を残すことができます。

ご使用前に、この使用説明書をよくお読みいただき、末永くこの製品をご愛用ください。

### ユーザー登録について

本製品をご使用になる前に、お早めにユーザー登録をお済ませください。同梱されているユーザー登録カードに記入して送付していただくか、登録カードに記載の弊社ホームページでオンライン登録を行なってください。

## この使用説明書について

**早分かり →P.12〜P.13**
ある程度デジタルカメラの知識をお持ちの方が、すぐに撮影を始められる時に便利です。

**基本撮影 →P.14〜P.27**
撮影・再生の基本知識を説明しています。デジタルカメラを初めてお使いの方はもちろん、すでに使ったことのある方もこの章は一通りお読みください。

**AUTO ー オート撮影 →P.28〜P.34**
画像サイズやフラッシュモードなど、撮影の中でも比較的よく使う機能について説明しています。一通り目を通されると便利です。

**M ー M撮影 →P.35〜P.45**
動画撮影を含めたさまざまな撮影方法を説明しています。必要に応じてお読みください。

**▶ ー 再生 →P.46〜P.61**
再生時のいろいろな機能について説明しています。必要に応じてお読みください。

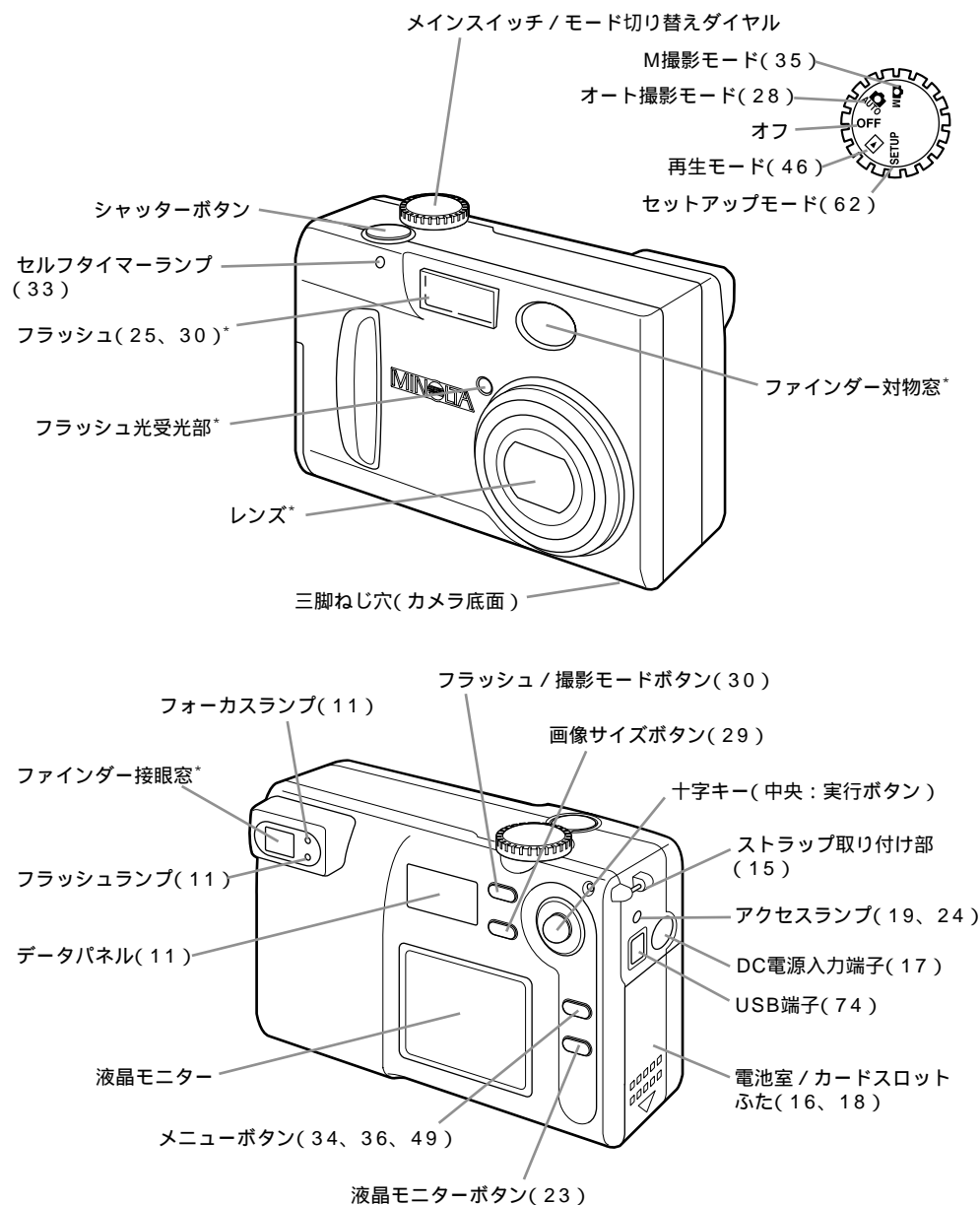
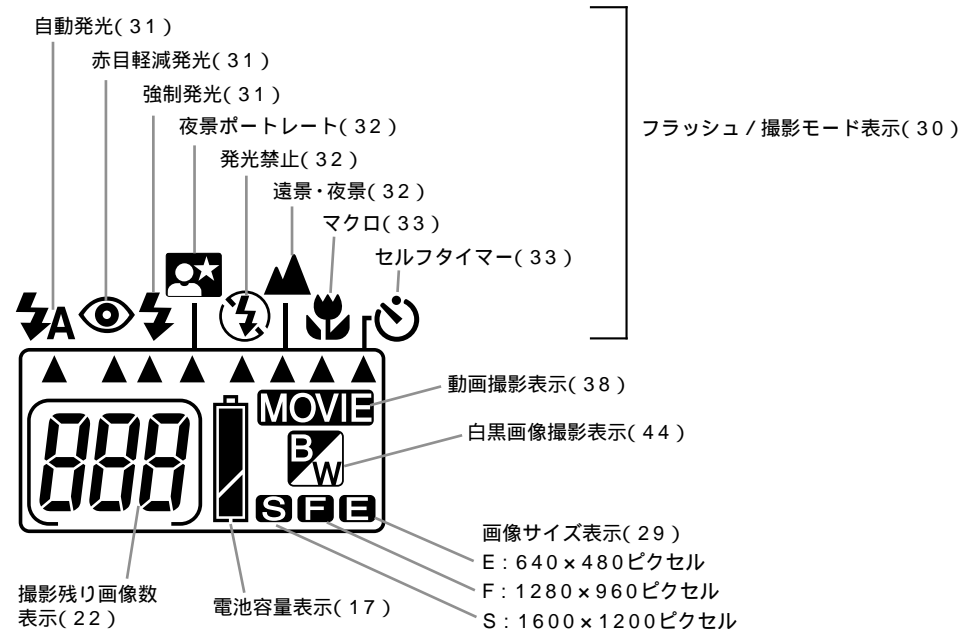
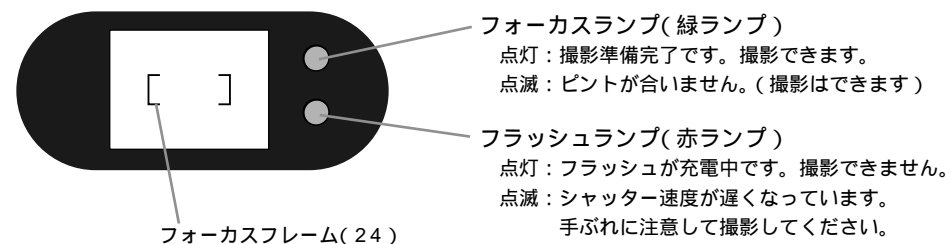
**SETUP ー セットアップ →P.62〜P.69**
このカメラのその他のさまざまな機能について説明しています。必要に応じてお読みください。

**パソコンで画像を見る →P.70〜P.80**
このカメラで撮影した画像を、お持ちのパソコンに取り込む方法について説明しています。

**その他 →P.81〜P.87**
一般的な注意事項や、トラブル時の処置等を記載しています。

# 各部の名称

*の付いたところは、直接手で触れないでください。(　)内は参照ページです。

## カメラボディ

## データパネル

## ファインダー

**緑ランプと赤ランプの両方が点灯 (アクセスランプも点灯)**

カードにアクセスしています (データ記録中・フォーマット中など)。
<u>点灯中は電池室／カードスロットのふたを開けないでください。</u>

**緑ランプと赤ランプの両方が点滅**

以下のいずれかに相当します。
- ピントが合わずシャッター速度も遅い (上記2つの組み合わせ)
- カードが入っていない (警告音あり) →P.18
- カードの残り容量が不足している (警告音あり) →P.22
- カードが正常にフォーマットされていない (警告音あり) →P.64
- SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチが書き込み禁止側になっている (警告音あり) →P.18

# 早分かり　詳しくは本文をご覧ください。

## 準備をする

1.電池を入れます。
　→P.16

2.カードを入れます。
　→P.18

## 言語と日時を設定する →P.20

1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを AUTO に合わせます。

2.十字キーの上下で希望の言語を選択し、十字キーの中央を押して決定します。

3.十字キーの上下で項目を選択し、左右で数値を変更します。設定終了後は十字キーの中央を押します。

## 撮影する →P.24

1.十字キーの上下で撮りたいものの大きさを決めます。

2.シャッターボタンを押して撮影します。

液晶モニターを使うときは液晶モニターボタンを押します。→P.23



## 再生する →P.27

1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを ▶ に合わせます。

2.十字キーの左右で見たい画像を選びます。

## 消去する →P.50

1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを ▶ に合わせ、消去したい画像を表示させます。

2.メニューボタンを押します。

3.十字キーの右側で消去モードに入ります。

4.十字キーの上下で、1コマ消去または全コマ消去を選びます。

5.十字キーの中央を押して消去します。

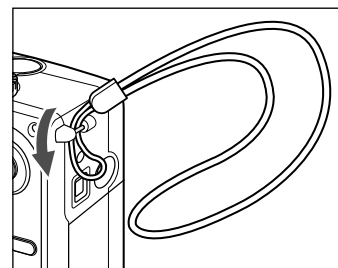
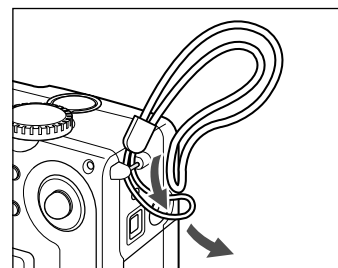
● 全コマ消去の場合は「すべての画像を消去しますか？」と出ます。
十字キーの左側で「はい」を選んだ後、十字キーの中央を押すとすべて消去されます。

# 基本撮影

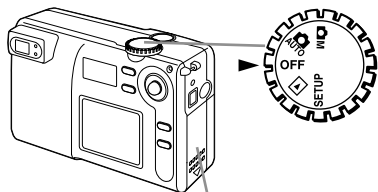
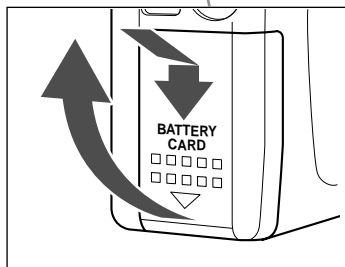
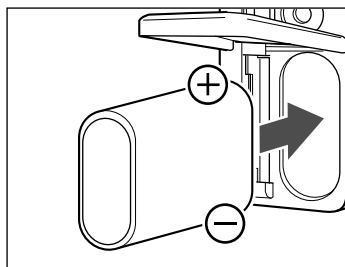
この章では、カメラの準備および最も基本的な撮影方法・再生方法を説明しています。

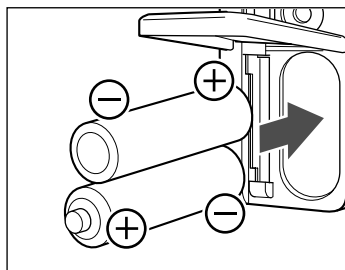




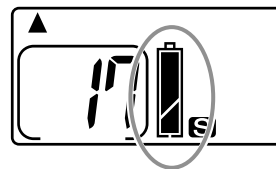
## ストラップを取り付ける

1. ストラップ取り付け部に、ストラップの短い方を通します。

2. 通したストラップの輪に、もう一方の端を通して引っ張ります。

# 電池を入れる

CR-V3リチウム電池（付属品）1個、単3形アルカリ電池2本または単3形ニッケル水素電池2本のいずれかを使用します。
● ニッケル水素電池は指定の充電器でフル充電してからお使いください。
● 約15分間以上電池を抜いたままにしておくと、日時の設定が失われます。このような場合は再度日時の設定を行なってください。→P.20

**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFに合わせます。**

**2. 電池室を矢印の方向にスライドさせて開けます。**

**3. 図のように正しい向きに電池を入れます。**

**4. 電池が正しく入ったことを確認した後、電池室を閉めます。**
● 最後まで確実に閉めてください。

## 単3形電池（別売り）の場合

**電池室内部の表示に合わせて、正しい向きに入れます。**

## 電池容量の確認

メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFF以外にすると、電池の容量がデータパネルに表示されます。

電池容量は十分です。

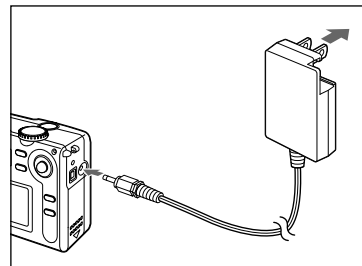
電池の交換をおすすめします。
この状態でも撮影はできます。

新しい電池と交換してください。
シャッターは切れません。

● 何も表示されないときは、電池の向きを確認してください。
● ご購入時の電池は出荷時に入れたものなので、通常購入される電池と比べて消耗が早くなることがあります。
● 長時間の撮影、再生、パソコン接続時には、別売りのACアダプターをおすすめします。

## オートパワーオフ（操作しないでいると表示が自動的に消えます）

約3分以上何も操作をしないでいると、節電のため自動的にカメラの電源が切れ、データパネルの表示も消えます（オートパワーオフ）。シャッターボタンを軽く押す、十字キーを上下左右いずれかに動かす等の操作で撮影を再開することができます。
● 撮影時は、液晶モニターは約1分何も操作をしないでいると、自動的に消灯します。
● オートパワーオフまでの時間（初期設定は3分）を変更したり、オートパワーオフ機能を停止する（自動的に電源を切れなくする）こともできます。→P.65
● パソコン接続時は、オートパワーオフまでの時間は常に30分となります。

## ACアダプター（別売り）

屋内などAC電源が使える場合は、別売りのACアダプターAC-3を使用すると、電池の残りを気にすることなく撮影ができて便利です。

### 接続のしかた

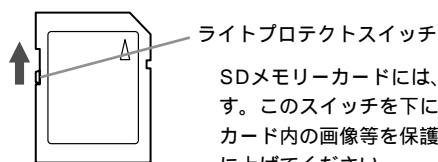
1. ACアダプターをコンセントに差し込みます。
2. カメラのメインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFにして、DC電源入力端子にACアダプターを接続します。

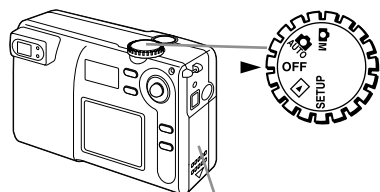
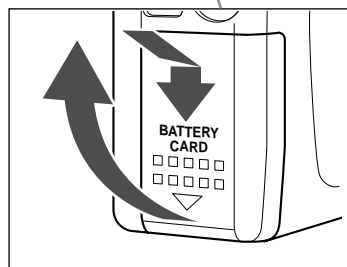
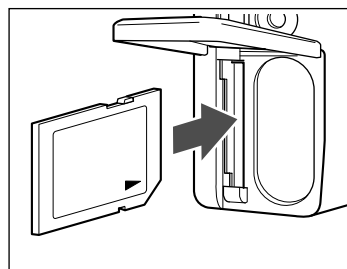
### 取り外し方

カメラのメインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFにしてから、ACアダプターを取り外します。

# カードを入れる／取り出す

## 入れ方

画像を記録するには、SDメモリーカードまたはマルチメディアカード（以下カード）が必要です。付属のカードは、そのままこのカメラに入れてお使いになれます。

ライトプロテクトスイッチ

● SDメモリーカードには、ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。このスイッチを下にスライドすると、カードへのデータ書き込みが禁止され、カード内の画像等を保護することができます。書き込みする際には、スイッチを上に上げてください。

**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFに合わせます。**

**2. カードスロットふたを矢印の方向にスライドさせて開けます。**

**3. カードのラベルをカメラの前面側に向け、ラベル上の▲マークを挿入口に向けて、カチッと音がするまで押し込みます。**

● 中央をまっすぐに押し込みます。端を押し込まないでください。

● カードが奥まで入らない場合は、無理に押し込まずに、カードの向きを確かめて正しく入れ直してください。

● 奥まで入ると、カードはロックされます。

**4. ふたを閉めます。**

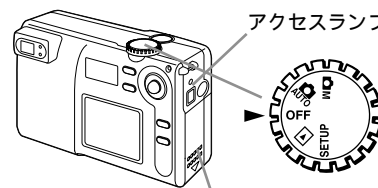
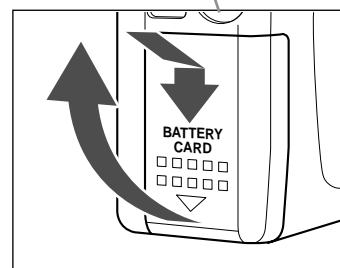
● 閉まらない場合は、次ページの要領でカードを一度押し込んでから取り出し、向きを確かめて正しく入れ直してください。

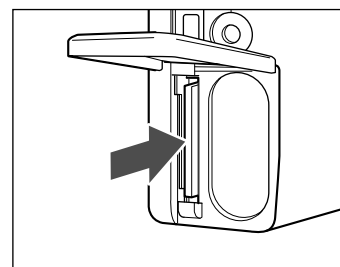
● カードを入れないまま撮影しようとすると、データパネルの「000」が点滅します（左図）。

● マルチメディアカードを使用した場合、SDメモリーカードと比べて撮影・再生時の動作応答時間がかなり長くなります。





## 取り出し方

**1. アクセスランプが消えているのを確認して、メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFに合わせます。**

**2. カードスロットふたを矢印の方向にスライドさせて開けます。**

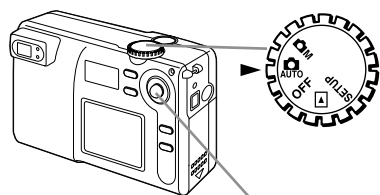
アクセスランプ点灯中は、カードスロットふたを開けないでください。カード内のデータが破損する原因となります。

**3. カードをカチッと音がするまで中に押し込みます。**

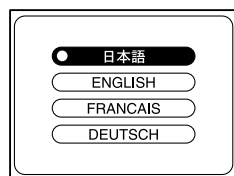
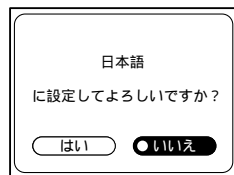
● ロックが外れ、カードが出てきます。

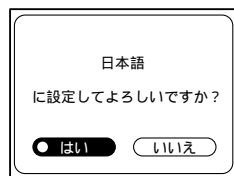
**4. ふたを閉めます。**

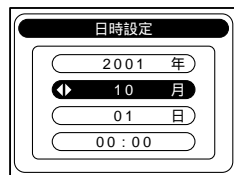
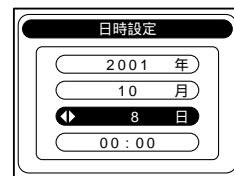
# 言語と日時の設定

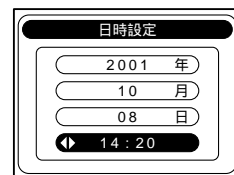
カメラをご購入後初めて使用されるときは、メニューの表示言語と日時の設定を行なってください。

●電池交換時など、約15分間以上電池を抜いたままにしておくと、日時の設定が失われます。このような場合も再度日時の設定を行なう必要があります。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを AUTO に合わせます。**

●OFF以外なら他の位置でも設定できます。

**2.十字キーの上下で希望の言語を選びます。**

**3.十字キー中央の実行ボタンを押します。**

●言語設定の確認画面が現れます。

**4.十字キーの左側で「はい」を選び、十字キー中央の実行ボタンで言語を決定します。**

**5.十字キーの左右で「年」を選びます。**

**6.十字キーの下側で「月」に移動し、左右で「月」を選びます。**

**7.十字キーの下側で「日」に移動し、左右で「日」を選びます。**

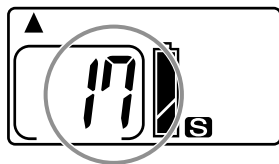
**8.十字キーの下側で「時」に移動し、左右で「時」を選びます。**

**9.十字キーの下側で「分」に移動し、左右で「分」を選びます。**

**10.十字キー中央の実行ボタンを押します。**

●日時設定の確認画面が現れます。

**11.再度十字キー中央の実行ボタンで日時を決定します。**

●日時設定後、液晶モニターは消灯します（AUTO または M の場合）。

# 撮影の準備

## 撮影残り画像数

カードを入れてメインスイッチ／モード切り替えダイヤルを AUTO などに合わせると、データパネルに撮影残り画像数（現在の設定で撮影を続けると、後何枚撮影できるか）が表示されます。

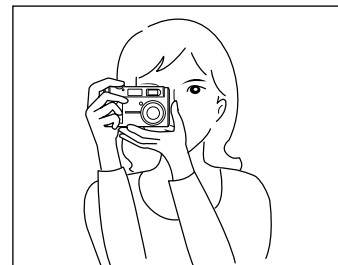
1枚のカードに記録できる画像数は、カードの容量、カメラで設定された画像サイズによって異なります。付属のカード（8MB）で初期設定（S）で撮影する場合、記録できる画像数は約17枚です。

- 異なる容量のカードを使用した場合や、画像サイズを変更した場合、また動画撮影を行なった場合は、撮影できる画像数は大きく変わります。※詳細は →P.29

- 「0」が表示されたときは、カードがいっぱいです。画像サイズを変更する、カードを交換する、カード内の画像を消去する、のいずれかを行なってください。

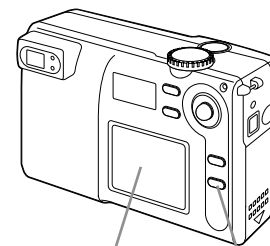
- 「000」が点滅したときは、カードがいっぱいです。画像サイズを変更しても撮影できません。カードを交換するか、カード内の画像を消去してください。

- ファイルサイズは被写体によって異なるため、撮影シーンによっては表示されている画像数が多少上下することがあります。
- 残り画像数が999枚を超える場合は、999と表示されます。

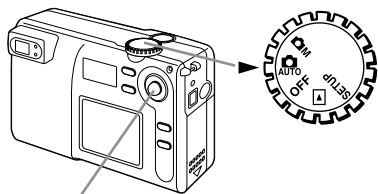
## カメラの構え方

写真がぶれないよう、脇を締め、両手でしっかりとカメラを構えて撮影してください。ファインダーをのぞいて撮影すると、手ぶれが起こりにくくなります。

- 縦位置で撮影するときは、フラッシュをレンズより上（グリップを上）にしてください。
- レンズやフラッシュなど、カメラの前面に指や髪、ストラップがかからないようにしてください。

メインスイッチを入れるとき（AUTO などにするとき）は、レンズに触れないよう注意してください。レンズを押さえたままだとデータパネルに「Err」が表示されます。この場合はいったんOFFにして、再度 AUTO などに合わせてください。

## 液晶モニターを使う

液晶モニターを見ながら撮影することもできます。
メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを AUTO などに合わせた後、液晶モニターボタンを押してください。

- 液晶モニターを消灯するときは、もう一度ボタンを押してください。
- 液晶モニターを使うと電池の消耗が早くなります。電池を節約したいときは、ファインダーの使用をおすすめします。

# 撮影します



**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを AUTO に合わせます。**

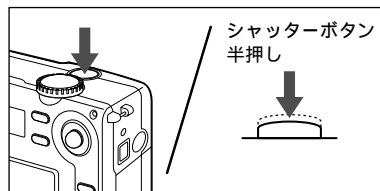
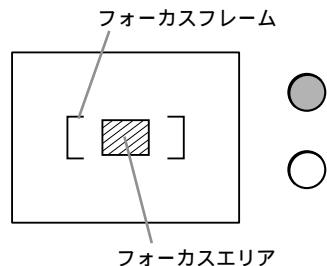
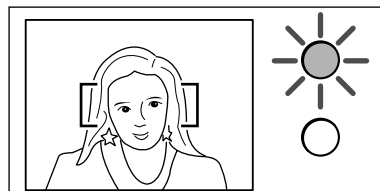
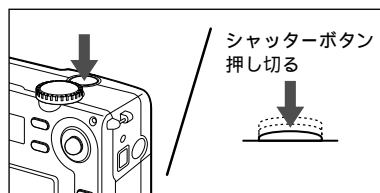
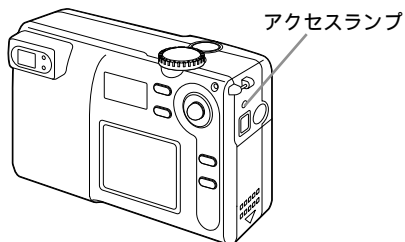
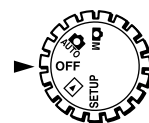
● レンズを押さえないよう注意してください。

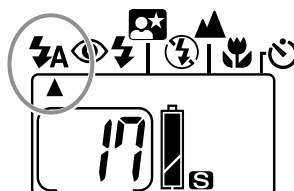
**2. ファインダーをのぞいて構図を決め、十字キーの上下でズームして大きさを決めます。**

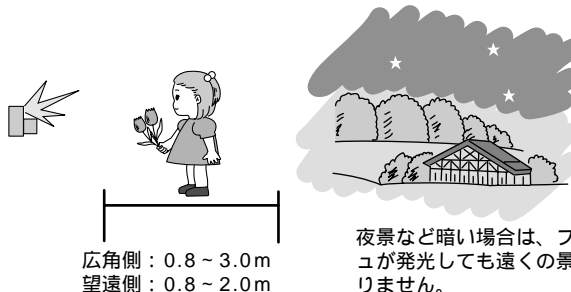


● 十字キー上側（T）を押すと望遠に、下側（W）を押すと広角になります。35mmカメラ換算で35〜105mmの範囲でズームすることができます。

● ファインダー内のフォーカスフレームの中央部分、フォーカスエリアにあるものにピントが合います。この部分に撮りたいものを重ねてください。

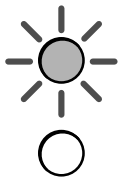
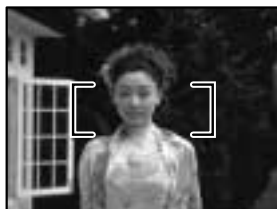
● 撮りたいものから0.8m以上離れてください。
※それより近いものを撮影するときは →P.33

**3. シャッターボタンを軽く押します（半押し）。**

● ファインダー横のフォーカスランプ（緑ランプ）が点灯したら撮影可能です。（ピントと露出が固定されています）
※緑ランプが点滅するときは →P.26

**4. シャッターボタンをゆっくり押し込んで撮影します。**

● 撮影された画像は自動的にカードに記録（書き込み）されます。書き込み中はアクセスランプが点灯しますので、その間は電池室／カードスロットふたを開けないでください。

● 撮影後は、メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFに合わせて、電源を切ってください。

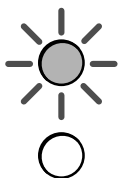
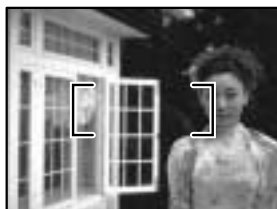
## フラッシュ撮影について

メインスイッチをOFFから AUTO にするたびに、フラッシュは自動発光 ⚡A となり、必要時には自動的に発光します。
※フラッシュモードを変更するには →P.30

● ファインダー横のフラッシュランプ（赤ランプ）が点灯したら、フラッシュが充電中です（シャッターは切れません）。緑ランプの点灯に変わるまで待ってから撮影してください。

夜景など暗い場合は、フラッシュが発光しても遠くの景色は写りません。

フラッシュの光が届く範囲には限度があります。最広角側では3m、最望遠側では2mを目安に撮影してください。

# ピントを合わせたいものが画面中央にないときは

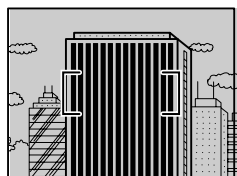
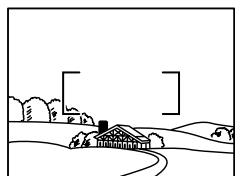
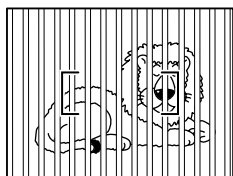
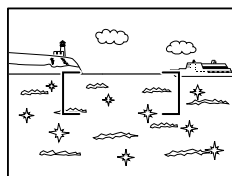
ピントを合わせたいものが画面中央にないときに、そのまま撮影すると、中心部の背景にピントが合って人物がぼけてしまいます。このようなときは、次のようにしてピントを固定（フォーカスロック）して撮影してください。

**1.ピントを合わせたいものを画面中央に合わせ、シャッターボタンを半押しします。**

- フォーカスランプ（緑ランプ）が点灯します。
- ピントと同時に露出も固定されます。

**2.シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に戻します。**

**3.シャッターボタンを押し込んで撮影します。**

## オートフォーカスの苦手な被写体

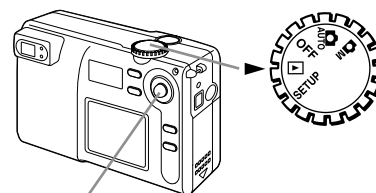
オートフォーカスのピント合わせは被写体のコントラスト（明暗差）を利用しています。したがって、次のような被写体ではオートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。このような場合は、上記のフォーカスロック撮影で、被写体と同じ距離にあるものにピントを固定して撮影してください。

- ピントが合わない場合は、ファインダー横の緑ランプが点滅します。

暗すぎるもの

青空や白壁など
コントラストのないもの

［　］の中に
距離の異なるものが
混じっているとき

太陽のように
明るいものや、
車のボディ、水面など
きらきら輝いているもの

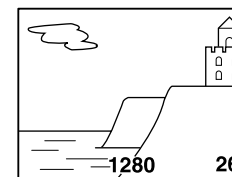
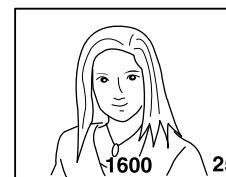


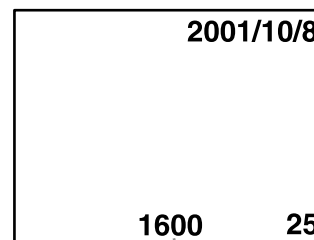
# 撮影した画像を見ます（再生）



撮影した画像を液晶モニターに表示することができます。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせます。**

- 撮影された最新の画像が表示されます。

**2.十字キーの左右で見たい画像を選びます。**

- 最初に粗い画像が表示され、少しするときれいな画像が表示されます。画像のコマ送りをする場合は、粗い画像のときでも可能です。
- 画像データがない場合は、「画像が記録されていません」と表示されます。

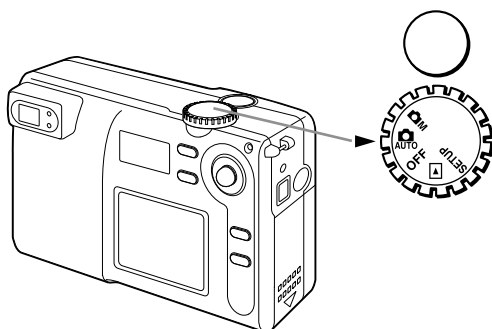
## 再生画面表示

日付表示
撮影時の日付が表示されます（再生時3秒間のみ）。

画像番号
再生画像に順に付けられた通し番号です。

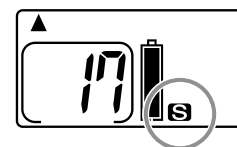
画像サイズ（→P.29）

1600：　1600×1200ピクセル（データパネルでは S ）
1280：　1280×960ピクセル（データパネルでは F ）
640：　640×480ピクセル（データパネルでは E ）
MOV：　Movie、動画

# オート撮影

この章では、カメラのメインスイッチ／モード切り替えダイヤルが AUTO 位置でのいろいろな撮影方法について説明しています。
● M位置でもこれらの撮影は可能です。

# 画像サイズを設定する

画像サイズ（画像の大きさ）を以下の3通りから選ぶことができます。サイズを小さくすればするほど、1枚のカードに記録できる枚数を増やすことができます。

| データパネル | 液晶モニター | 画像サイズ | 説明 |
|---|---|---|---|
| S | 1600 | 1600 × 1200 (UXGA) | 最大の画像サイズで、初期設定はこの設定です。保存しておきたい画像や、パソコンに取り込んで編集するときにはこの設定をおすすめします。約200万画素の画像が撮影されます。 |
| F | 1280 | 1280 × 960 (SXGA) | S（1600）と E（640）の間の大きさです。約130万画素の画像が撮影されます。 |
| E | 640 | 640 × 480 (VGA) | 最も多くの枚数を撮影することができます。ファイルサイズが小さいので、Eメールに添付するときやホームページ用の画像として最適です。 |

**画像サイズボタンを押して、希望の画像サイズを選びます。**

## ファイルサイズと撮影画像数

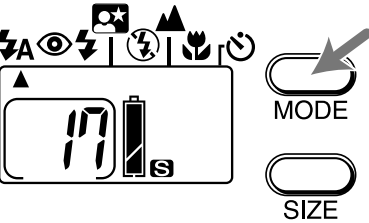
画像サイズによってファイルサイズが決まり、ファイルサイズとカードの容量によって1枚のカードに記録できる撮影画像数が決まります。画像サイズ別のファイルサイズと、付属の8MBのカード使用時の撮影画像数の目安は以下の通りです（1枚のカードにすべて同じ画像サイズで撮影した場合）。

| | 撮影画像数 | ファイルサイズ |
|---|---|---|
| S（1600） | 約17枚 | 約400KB |
| F（1280） | 約26枚 | 約250KB |
| E（640） | 約60枚 | 約100KB |

※画像はすべてJPEGです。

● 撮影画像数やファイルサイズは被写体によって異なります。上記の値はあくまでも目安とお考えください。

# フラッシュモードと撮影モードを設定する

フラッシュ発光の有無・マクロ撮影・セルフタイマーなど、いろいろなフラッシュ／撮影モードを選ぶことができます。

**フラッシュ／撮影モードボタンを押して、希望のモードの下に▲を点灯させます。**

● フラッシュ／撮影モードボタンを押すたびに、以下の順序でモードが切り替わります。
※（　）内は参照ページです。

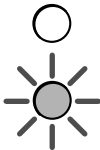
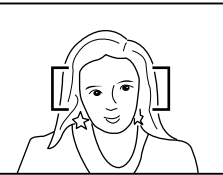
| | | ϟA | 👁 | ϟ | 夜景ポートレート | 発光禁止 | 遠景・夜景 | マクロ | セルフタイマー |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | フラッシュ自動発光（31） | ▲ | | | | | | | |
| | フラッシュ赤目軽減自動発光（31） | ▲ | ▲ | | | | | | |
| | フラッシュ強制発光（31） | | | ▲ | | | | | |
| | 夜景ポートレート（32） | | | | ▲ | | | | |
| | フラッシュ発光禁止（32） | | | | | ▲ | | | |
| | 遠景・夜景（32） | | | | | | ▲ | | |
| | マクロ（33） | | | | | | | ▲ | |
| セルフタイマー付き（33） | フラッシュ自動発光 | ▲ | | | | | | | ▲ |
| | フラッシュ赤目軽減自動発光 | ▲ | ▲ | | | | | | ▲ |
| | フラッシュ強制発光 | | | ▲ | | | | | ▲ |
| | 夜景ポートレート | | | | ▲ | | | | ▲ |
| | フラッシュ発光禁止 | | | | | ▲ | | | ▲ |
| | 遠景・夜景 | | | | | | ▲ | | ▲ |
| | マクロ | | | | | | | ▲ | ▲ |

**逆戻りするとき**

フラッシュ／撮影モードボタン（MODE）を押しながら、十字キーの左側を押します。また最後まで行った後フラッシュ／撮影モードボタンを押すと、最初に戻ります。

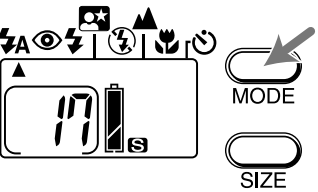
**フラッシュ自動発光（セルフタイマーなし）に戻るとき**

フラッシュ／撮影モードボタン（MODE）を2秒間押し続けます。

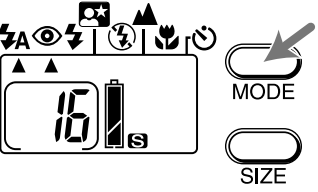
● メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFにすると、設定したモードは解除されます。
● オートパワーオフ（3分間操作しないと自動的に電源が切れる）時は、各モードの設定は保存されます（夜景ポートレート、マクロ、セルフタイマーを除く）。

● 夜景ポートレート／フラッシュ発光禁止／遠景・夜景／マクロ設定時は、手ぶれがおこりやすくなります。ファインダー横のフラッシュランプ（赤ランプ）が点滅したら、カメラを三脚に固定して撮影することをおすすめします。



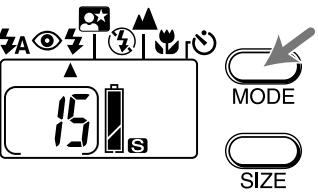
## ϟA フラッシュ自動発光

メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを AUTO にすると、自動的にこのモードになります。すべての設定をカメラが自動的に行い、暗い場所や逆光など必要時には自動的にフラッシュが発光します。

**フラッシュ／撮影モードボタンを押して、ϟA の下に▲を点灯させます。**

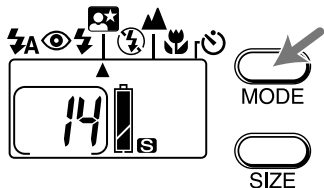
## ϟA👁 フラッシュ赤目軽減自動発光

暗いところで人物を撮影すると、フラッシュの光が目の中で反射して、目が赤く写ることがあります。このモードでは撮影の直前に小光量のフラッシュが発光し、目が赤く写るのをやわらげることができます。フラッシュは必要時には自動的に発光します。

**フラッシュ／撮影モードボタンを押して、ϟA と👁の下に▲を点灯させます。**

## ϟ フラッシュ強制発光

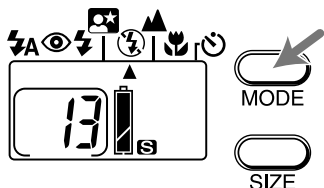
フラッシュは必ず発光します。逆光時や顔の影をやわらげたい時、蛍光灯のついた屋内などでお使いください。

**フラッシュ／撮影モードボタンを押して、ϟ の下に▲を点灯させます。**

## 夜景ポートレート

夜景を背景に記念撮影する場合、通常のフラッシュ撮影では手前の人物はきれいに写し出されますが、フラッシュ光の届かない背景は黒くつぶれてしまいます。そのような場合にこのモードを使うと、人物も背景もきれいに撮ることができます。目が赤く写るのをやわらげるため、撮影の直前に小光量のフラッシュが発光します。

**フラッシュ／撮影モードボタンを押して、 の下に▲を点灯させます。**

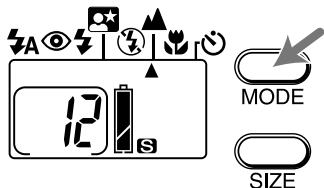
- 手ぶれしやすいので三脚を使用してください（赤ランプが点滅してお知らせします）。また撮影される人物が動くと写真もぶれるので、動かないよう気をつけてもらうことをおすすめします。

## フラッシュ発光禁止

フラッシュは発光しません。美術館などフラッシュの使用が禁止されている場所で撮影するときにお使いください。

**フラッシュ／撮影モードボタンを押して、 の下に▲を点灯させます。**

- 暗いところでは手ぶれしやすいので、三脚を使用してください（赤ランプが点滅してお知らせします）。
- フラッシュ光の届かない被写体を撮影するのにも利用できます。

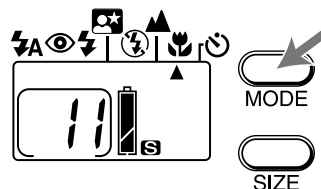
## 遠景・夜景

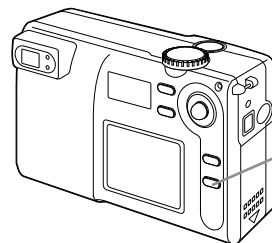
遠くの風景や夜景を撮影するのに使います。フラッシュは発光しません。ピントは自動的に無限位置になりますので、ガラス越しでの撮影等にも便利です。

**フラッシュ／撮影モードボタンを押して、 の下に▲を点灯させます。**

- 暗いところでは手ぶれしやすいので、三脚を使用してください（赤ランプが点滅してお知らせします）。



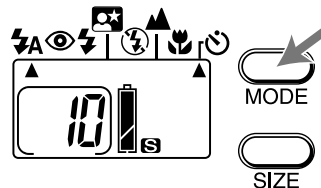
## マクロ

撮影したいものがレンズ先端から25cm〜80cmの間にあるときに使います。

**1. フラッシュ／撮影モードボタンを押して、 の下に▲を点灯させます。**

**2. 液晶モニターボタンを押します。**

**3. 液晶モニターを見ながら撮影します。**

- フラッシュは発光しません。
- 暗いところでは手ぶれしやすいので、三脚を使用してください（赤ランプが点滅してお知らせします）。
- マクロ撮影時には、レンズを通って実際に記録される画像とファインダーを通して見える画像にずれが生じます。よってファインダーを使わずに液晶モニターで構図を決めてください。
- マクロ撮影時には、通常よりもピント合わせに時間がかかることがあります。フォーカスランプ（緑ランプ）の点灯を確認してから撮影してください。

## セルフタイマー

シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。撮影者も一緒に写真に入るときに便利です。

**1. フラッシュ／撮影モードボタンを押して、 の下に▲を点灯させます。**

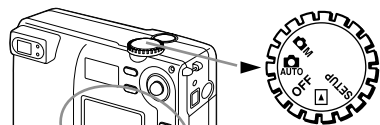
- その他のモードと組み合わせて使うことができます。希望のモードの下に▲を点灯させてください。

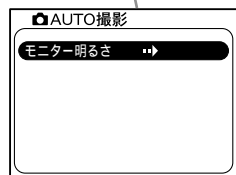
**2. シャッターボタンを押し込んで撮影します。**

- カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅し始め、約10秒後にシャッターが切れます。

- 撮影後、セルフタイマーは解除されます。
- 作動中のセルフタイマーを止めるには、メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFにしてください。
- シャッターボタンを押してから撮影までの時間（初期設定は10秒）を3秒に変更することもできます。→P.65

# 液晶モニターの明るさを調整する

液晶モニターの明るさを調整することができます。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを AUTO に合わせます。**

● レンズを押さえないよう注意してください。

**2.メニューボタンを押します。**

**3.十字キーの右側を押します。**

● 明るさ調整の画面が現れます。

**4.十字キーの左右で明るさを調整します。**

● 右に行くと明るく、左に行くと暗くなります。

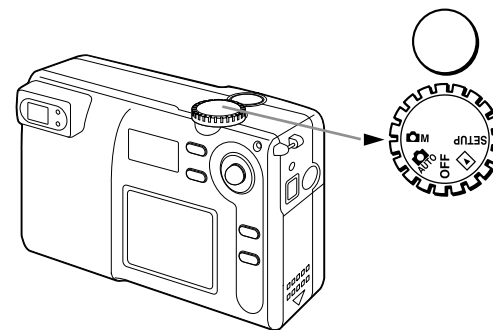
**5.十字キー中央の実行ボタンを押して決定します。**

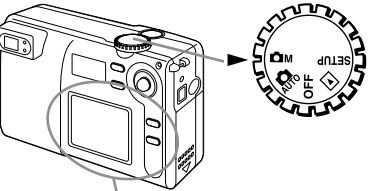
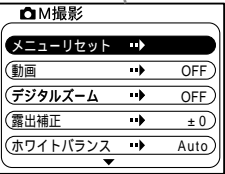
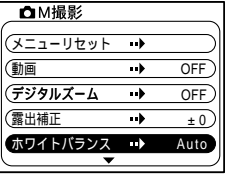


# M撮影

メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを M に合わせると、オート撮影ではできなかった応用的な撮影ができるようになります。この章では、M 位置でのいろいろな撮影方法について説明しています。

● M 位置で選択したこれらの設定は、AUTO（オート撮影）に戻すと自動的にキャンセルされます。（M に戻すと前の設定は残っています。）

● AUTO（オート撮影）で可能な画像サイズ・フラッシュモード・撮影モードの設定は、M 位置でも可能です。

# M撮影メニュー

M（M撮影）設定時のメニュー操作方法は以下の通りです。

1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを M に合わせます。
   - レンズを押さえないよう注意してください。

2. メニューボタンを押します。

3. 十字キーの上下で設定したいメニューを選びます。
   - 以下の通りにメニューが切り替わります。

| メニュー | 設定 |
|---|---|
| メニューリセット →P.45 | — |
| 動画 →P.38 | ○OFF、320×240、160×120 |
| デジタルズーム →P.39 | ○OFF、ON |
| 露出補正 →P.40 | −1.5、−1.2、−0.9、−0.6、−0.3、○±0、+0.3、+0.6、+0.9、+1.2、+1.5 |
| ホワイトバランス →P.41 | ○自動、昼光、白熱灯、フラッシュ、蛍光灯 |
| スポット測光 →P.42 | ○OFF、ON |
| スローシャッター →P.43 | ○OFF、ON |
| モニター明るさ →P.34 | — |
| カラーモード →P.44 | ○カラー、白黒 |

○は初期設定値です。

4. 十字キーの右側で希望の設定を選びます。
   - 複数のメニューを設定するときは、4、5の操作を繰り返します。

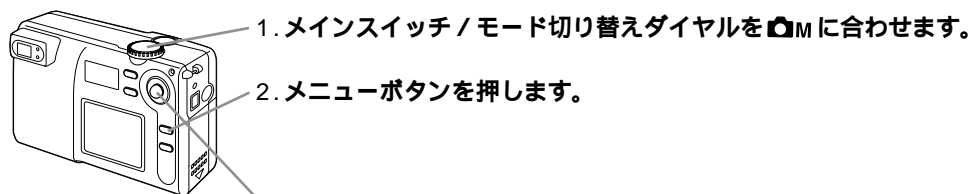
5. 十字キー中央の実行ボタンで設定を決定します。

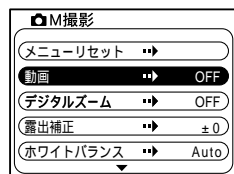
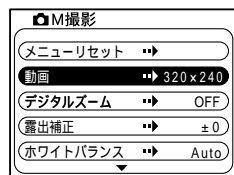
6. 設定された内容で撮影します。

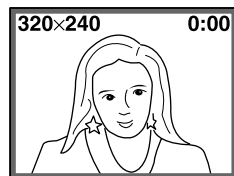
- 設定されたメニュー内容は、メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFにしても保存されています。
- メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを AUTO（オート撮影）にすると、M撮影で設定された内容は一時的に解除されます。ダイヤルを M に戻すと前の設定が再び現れます。

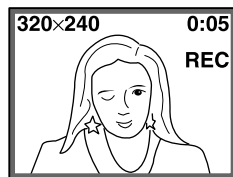
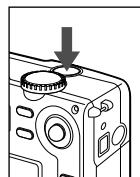
# 動画を撮影する

連続最長15秒までの動画撮影を行なうことができます。シャッターボタンを押している間のみ撮影できます。

- 動画を設定すると、「メニューリセット」と「モニター明るさ」以外のメニューは変更できなくなります。動画をOFFにすると他のメニューも設定できます。

**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを M に合わせます。**

**2. メニューボタンを押します。**

**3. 十字キーの上下で「動画」を選びます。**

**4. 十字キーの左右で希望の動画画像サイズを選びます。**

- 以下の通りに切り替わります。
  - OFF（動画撮影なし）
  - 320×240ピクセル
  - 160×120ピクセル

**5. OFF以外を選んで十字キー中央の実行ボタンを押すと、動画開始画面になります。**

- 動画画像は黄色の枠で囲まれます。
- データパネルには MOVIE が表示されます。画像数は、撮影可能な動画の画像数を表します。

経過秒数

動画記録中表示

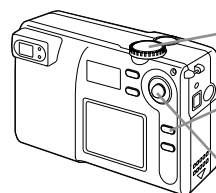
**6. シャッターボタンを押し続けている間、動画が撮影されます。**

- 動画選択中は、メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを M に合わせると、自動的に液晶モニターが点灯します。消灯させることはできません。
- 動画撮影中は、ズームは作動しません。
- 付属の8MBのカードには、目安として320×240ピクセル設定時は2回、160×120ピクセル設定時は最高8回の動画撮影ができます（1枚のカードにすべて同じ画像サイズで15秒間撮影した場合）。
- 動画のファイルサイズは被写体によって大きく異なります。一度動画撮影が終了しても、表示されている残り画像数が変化しない場合があります。
- 通常撮影に戻るときは、再度メニューボタンを押して「動画」「OFF」を選択してください。

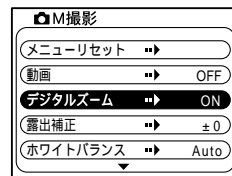


# デジタルズーム

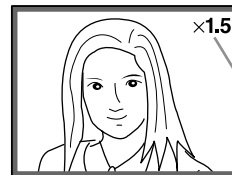
通常のズーム（光学ズーム）で最望遠側にした後、デジタルズームにより、さらに1.5倍または2倍に画像を拡大することができます。

- デジタルズームで撮影すると、通常撮影した画像と比べて画質が劣化します。

**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを M に合わせます。**

**2. メニューボタンを押します。**

**3. 十字キーの上下で「デジタルズーム」を選びます。**

**4. 十字キーの左右で「ON」を選びます。**

**5. 十字キー中央の実行ボタンを押して決定します。**

**6. 十字キーの上側でズーム（光学ズーム）を最望遠側にします。**

デジタルズーム倍率

**7. さらに十字キーの上側を1回押すと1.5倍、2回押すと2倍に画像が拡大されます（デジタルズーム）。**

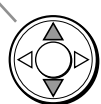
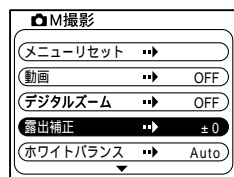
- デジタルズーム画像は青色の枠で囲まれます。

- デジタルズームは、液晶モニターが点灯している状態で行なってください。消灯しているときはデジタルズームはできません。
- 通常のズームに戻るには、十字キーの下側を1回または2回押してください。デジタルズームを完全に解除するには、再度メニューボタンを押して「デジタルズーム」「OFF」を選択してください。

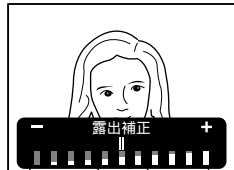
# 画像を明るく・暗くする（露出補正）

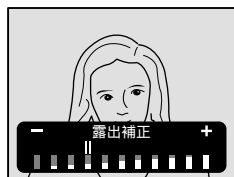
画面全体を明るくしたり暗くしたりします。±1.5段の範囲内で0.3段刻みで補正することができます。
＋側にすると画面全体が明るくなります。白い被写体を白く表現するときや、黒い被写体をつぶさずに描写するときなどに使います。
－側にすると画面全体が暗くなります。黒い被写体を黒く表現するときなどに使います。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを M に合わせます。**

**2.メニューボタンを押します。**

**3.十字キーの上下で「露出補正」を選びます。**

**4.十字キーの右側を押します。**

● 露出補正の画面が現れます。

**5.十字キーの左右で露出を補正します。**

● 中央が基準値（±0）です。目盛1つが0.3段に相当し、＋側にすると明るく、－側にすると暗くなります。

**6.十字キー中央の実行ボタンを押して決定します。**

● 露出補正を解除するときは、上記の要領で中央部分（±0）を選択してください。
● フラッシュ発光時には、露出補正の効果が十分現れないことがあります。

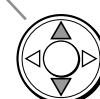
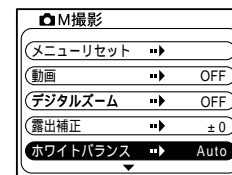


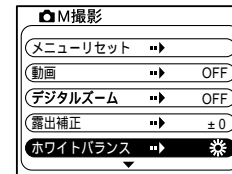
# ホワイトバランス

光源によって被写体の色は変化します。特に白いものは、光源によって青っぽくなったり黄色っぽくなったりします。これが白くなるように調整するのがホワイトバランスです。オート位置にすると自動的に調整されますが、意図的に選択することもできます。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを M に合わせます。**

**2.メニューボタンを押します。**

M撮影
メニューリセット
動画 OFF
デジタルズーム OFF
露出補正 ±0
ホワイトバランス Auto

**3.十字キーの上下で「ホワイトバランス」を選びます。**

M撮影
メニューリセット
動画 OFF
デジタルズーム OFF
露出補正 ±0
ホワイトバランス

**4.十字キーの左右で希望のホワイトバランスを選びます。**

● 以下の通りに切り替わります。

| | |
|---|---|
| Auto | オート（自動） |
| | 昼光 |
| | 白熱灯 |
| | フラッシュ光 |
| | 蛍光灯 |

**5.十字キー中央の実行ボタンを押して決定します。**

● 通常撮影（オート）に戻るときは、上記の要領でAutoを選択してください。
● 複数の光源がある場合や、水銀灯など特殊な光源下では、正確なホワイトバランスが得られないことがあります。フラッシュの使用をおすすめします。

# スポット測光

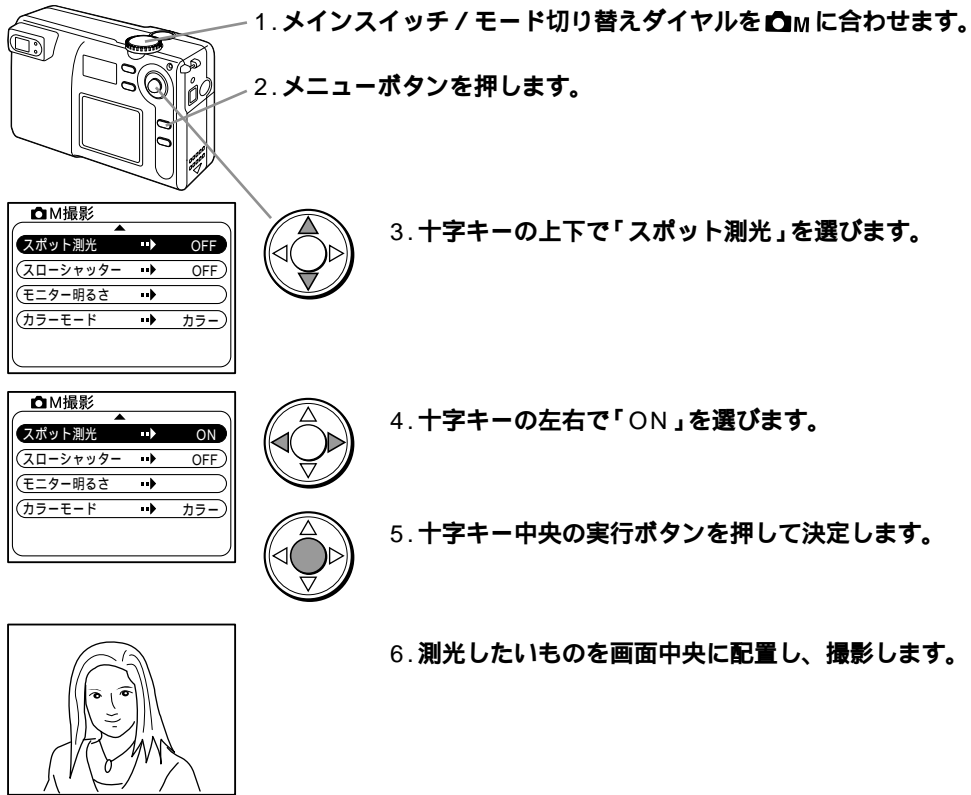
通常の測光方式では画面全体の明るさを測定して露出を決めますが、スポット測光では画面中央部の明るさを測定します。画面内の輝度差が大きい場合に便利です。

1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを📷Mに合わせます。
2. メニューボタンを押します。

3. 十字キーの上下で「スポット測光」を選びます。

4. 十字キーの左右で「ON」を選びます。

5. 十字キー中央の実行ボタンを押して決定します。

6. 測光したいものを画面中央に配置し、撮影します。

● スポット測光を解除するときは、上記の要領でOFFを選んでください。



# スローシャッター

通常は1/8秒～1/2000秒の間でシャッター速度が自動的に設定されます。スローシャッターにすると、最長2秒までシャッター速度が遅くなります。夜景などを明るく撮影したいときなどに便利です。

● スローシャッターが有効となるのは、夜景ポートレート／フラッシュ発光禁止／遠景・夜景／マクロ撮影時のみです。
● カメラを三脚に固定してお使いください。

1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを📷Mに合わせます。
2. メニューボタンを押します。

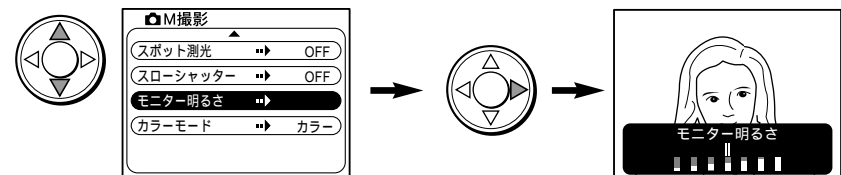
3. 十字キーの上下で「スローシャッター」を選びます。

4. 十字キーの左右で「ON」を選びます。

5. 十字キー中央の実行ボタンを押して決定します。

● スローシャッターを解除するときは、上記の要領でOFFを選んでください。

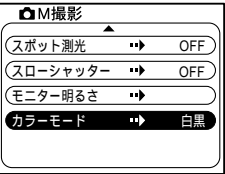
# 液晶モニターの明るさを調整する

オート撮影での液晶モニターの明るさ調整（→P.34）と同一の機能です。📷M（M撮影）時に調整するときは、メニューボタンを押した後、十字キーの上下で「モニター明るさ」を選び、十字キーの右側で明るさ調整画面を表示させてください。それ以外はオート撮影時の明るさ調整と同じです。

# 白黒で撮影する

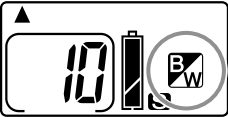
白黒（モノクロ）画像を撮影することができます。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを M に合わせます。**

**2.メニューボタンを押します。**

**3.十字キーの上下で「カラーモード」を選びます。**

**4.十字キーの左右で「白黒」を選びます。**

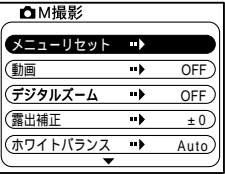
**5.十字キー中央の実行ボタンを押して決定します。**

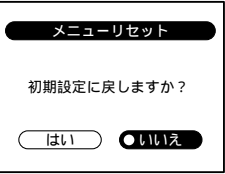
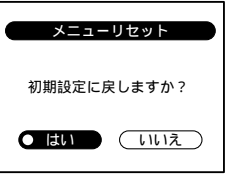
●液晶モニターの画像が白黒になります。

●データパネルには B/W が表示されます。液晶モニターを使わずに撮影するときには、戻し忘れのないよう注意してください。

●カラー撮影に戻すときは、上記の要領で「カラー」を選んでください。

# M撮影でのメニューをリセットする

M（M撮影）時に設定したメニューをすべて、一度に初期設定に戻すことができます。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを M に合わせます。**

**2.メニューボタンを押します。**

**3.「メニューリセット」が選択されているのを確認して、十字キーの右側を押します。**

●メニューリセットの確認画面が現れます。

**4.十字キーの左側で「はい」を選びます。**

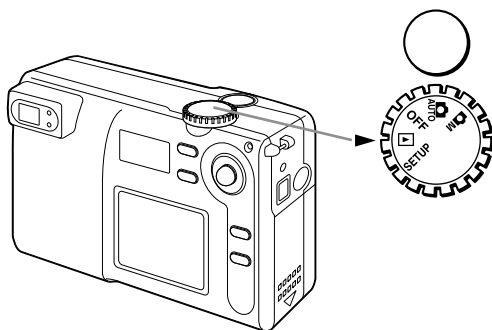
**5.十字キー中央の実行ボタンを押してリセットします。**

●「いいえ」を選んで中央の実行ボタンを押すと、リセットは行われません。

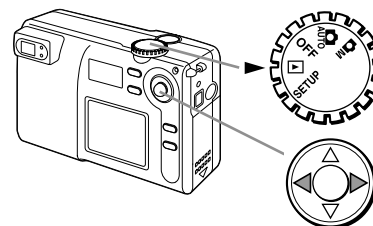
メニューリセットによりリセットされる項目および設定は以下の通りです。

| 項目 | 設定 |
|---|---|
| 動画 | OFF |
| デジタルズーム | OFF |
| 露出補正 | ±0 |
| ホワイトバランス | オート（自動） |
| スポット測光 | OFF |
| スローシャッター | OFF |
| カラーモード | カラー |

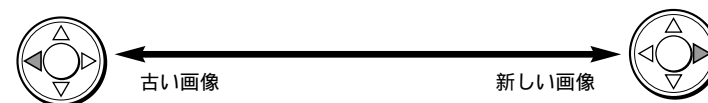
# 再 生

この章では、カメラのメインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶（再生）位置にしたときのさまざまな機能について説明しています。

● このカメラで再生できる最大画像数は999枚です。カード内に1000枚以上画像ファイルがある場合は、再生が実行されないことがあります。
● このカメラはDCF（Design rule for Camera File system）仕様に準拠しています。他社のカメラで撮影したSDメモリーカード／マルチメディアカード内の画像も、DCF仕様に準拠していれば再生することができます。ただし消去など一部の機能を使用することはできません。

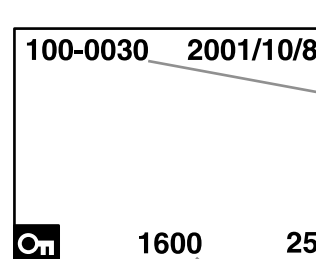


## 再生する

**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせます。**
● 撮影された最新の画像が表示されます。

**2. 十字キーの左右で見たい画像を選びます。**

古い画像　　新しい画像

● 撮影後すぐにメインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に切り替えた場合、カードへの書き込みが終わってから（＝アクセスランプが消灯してから）画像が表示されます。
● 動画は黄色の枠で囲まれます。

### 再生画面表示

100-0030　2001/10/8
1600　25

**日付表示**
撮影時の日付が表示されます（再生時3秒間のみ）。

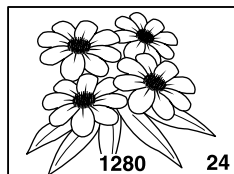
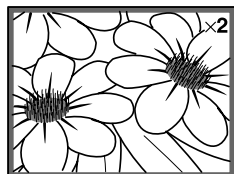
**ファイルNo.表示 →P.56**
ファイルNo.表示がONのときのみ表示されます。カード内のフォルダ番号とファイル番号を表します。プリント指定の際に必要です。

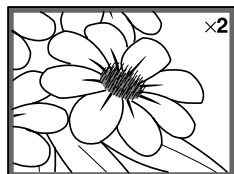
**画像番号**
再生画像に順に付けられた通し番号です。

**画像サイズ →P.29**
1600：　1600×1200ピクセル（データパネルではS）
1280：　1280×960ピクセル（データパネルではF）
640：　640×480ピクセル（データパネルではE）
MOV:　Movie、動画

**プロテクト表示 →P.54**
プロテクト（誤消去防止）された画像に表示されます。

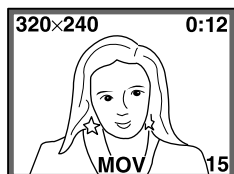
## 拡大再生

画像を2倍に拡大して再生することができます。

**1.十字キーの左右で見たい画像を選びます。**

**2.十字キーの中央の実行ボタンを押します。**

- 画像の中心部が2倍に拡大されます。
- 拡大された画像は青色の枠で囲まれます。

**3.十字キーの上下左右を押して、表示部分を移動させます。**

- もう一度十字キーの中央を押すと、拡大前の画像に戻ります。

## 動画再生

動画を再生します。

**1.十字キーの左右で見たい動画を選びます。**

- 再生開始前の動画は黄色の枠で囲まれています。

**2.十字キーの中央の実行ボタンを押します。**

再生中に、

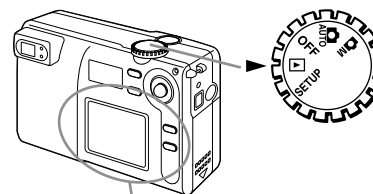
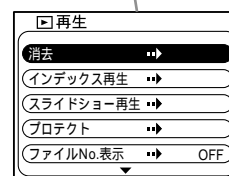
十字キーの中央を押すと、再生が終了します。

十字キーの下側を押すと、一時停止・再スタートを繰り返します。

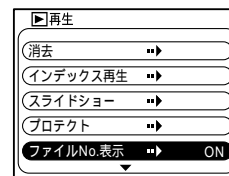
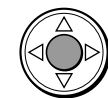
- 再生が終了すると、1の画面に戻ります。
- 動画は読み出しに多少時間がかかります。アクセス中（ファインダー横の赤ランプと緑ランプが点灯中、またはカメラ側面のアクセスランプが点灯中）は、動画の再生を開始することはできません。



# 再生メニュー

▶（再生）時のメニュー操作方法は以下の通りです。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせます。**

**2.メニューボタンを押します。**

**3.十字キーの上下で設定したいメニューを選びます。**

- 以下の通りにメニューが切り替わります。
  - 消去 →P.50
  - インデックス再生 →P.52
  - スライドショー →P.53
  - プロテクト →P.54
  - ファイルNo.表示 →P.56
  - モニター明るさ →P.34、56
  - プリント指定 →P.57

**4.十字キーの右側を押します。**

**5.十字キーで詳細を設定した後、中央の実行ボタンで決定します。**

- 詳しくは各メニューのページをご覧ください。

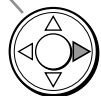
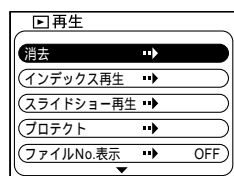
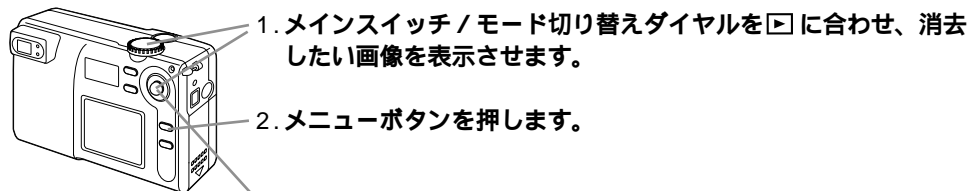
- 設定されたメニュー内容は、メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFにしても保存されています。

# 画像を消去する

画像を消去します。1コマずつ消去する方法と、全部のコマを一度に消去する方法があります。

いったん消去した画像を復活させることはできません。

## 1コマずつ消去する

1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせ、消去したい画像を表示させます。
2. メニューボタンを押します。

3. 「消去」が選択されているのを確認して、十字キーの右側を押します。

● 消去の選択画面が現れます。

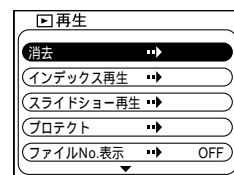
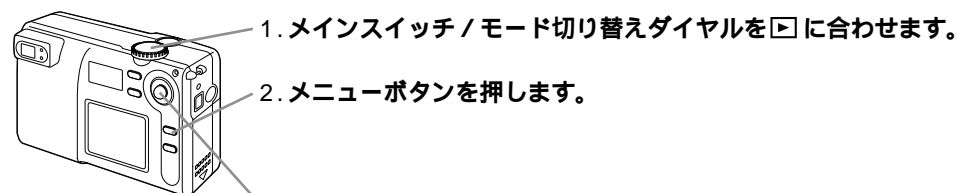
4. 十字キーの上側で「1コマ」を選びます。

5. 十字キー中央の実行ボタンを押します。
   - ● 表示されていた画像が消去されます。
   - ●「いいえ」を選んで中央の実行ボタンを押すと、消去されません。

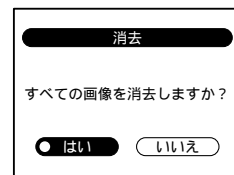
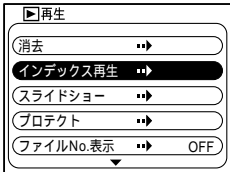
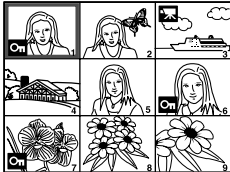
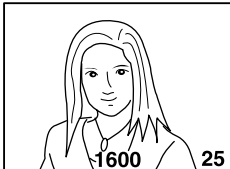
● 画面右下の画像番号は新たにふり直されます。
● 画面左下に On が表示されている画像（プロテクトされている画像、→P.54）は消去できないので、「1コマ」の表示を選ぶことはできません。



## 全部のコマを消去する

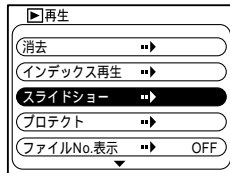
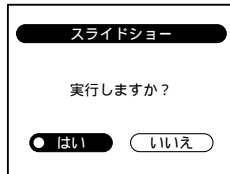
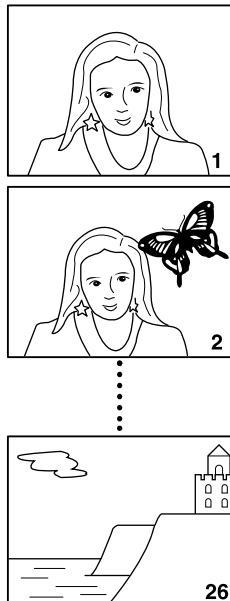
1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせます。
2. メニューボタンを押します。

3. 「消去」が選択されているのを確認して、十字キーの右側を押します。

4. 消去の選択画面が現れるので、十字キーの下側で「全コマ」を選びます。

5. 十字キー中央の実行ボタンを押します。

6. 消去の確認画面が現れるので、十字キーの左側で「はい」を選びます。

7. 十字キー中央の実行ボタンを押します。
   - ● すべての画像が消去され、「画像が記録されていません」というメッセージが現れます。
   - ●「いいえ」を選んで中央の実行ボタンを押すと、消去されません。

画像が記録されていません

● 画面左下に On が表示されている画像（プロテクトされている画像、→P.54）は、消去できません。全コマ消去後も消去されずに残ります。

画像を消去する

# 複数の画像を一度に見る（インデックス再生）

9コマ分を一度に液晶モニターに表示します。十字キーで画像の移動ができます。見たい画像をすばやく探したいときに便利です。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせます。**

**2.メニューボタンを押します。**

**3.十字キーの上下で「インデックス再生」を選びます。**

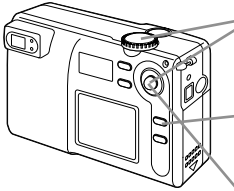
**4.十字キーの右側を押します。**

- 9コマの画像が一度に表示されます（インデックス画面）。
- 選択中の画像は、インデックス画面の中で赤枠で表示されます。
- 動画には🎞が、プロテクトされている画像（→P.54）には🔑が同時に表示されます。

**5.十字キーの上下左右で見たい画像を選びます。**

**6.十字キー中央の実行ボタンを押すと、選択している画像が通常に再生されます。**



# スライドショー

カードに記録されている画像を、自動的に3秒間ずつ順番に表示させることができます。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせます。**

**2.メニューボタンを押します。**

**3.十字キーの上下で「スライドショー」を選びます。**

**4.十字キーの右側を押します。**

- スライドショー実行の確認画面が現れます。

**5.十字キー中央の実行ボタンを押します。**

- スライドショーが開始され、すべての画像が1コマ目から順に3秒間ずつ現れます。
- 「いいえ」を選んで中央の実行ボタンを押すと、スライドショーは開始されません。

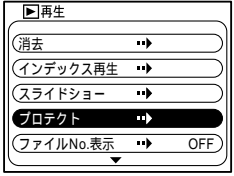
スライドショー再生中に、

十字キーの中央を押すとスライドショー再生が終了し、通常の再生に戻ります。

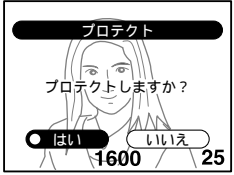
十字キーの右側を押すと、次の画像に進みます。

十字キーの下側を押すと、一時停止・再スタートを繰り返します。

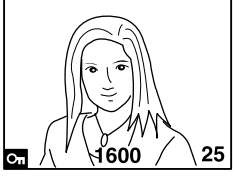
- 最後のコマまでスライドショー再生されると、最終コマが再生されている状態で止まります。

# 大事な画像を残す（プロテクト）

撮影した画像にプロテクトをかけると、その画像は消去されません。消したくない画像を間違って消してしまわないようにする場合に便利です。

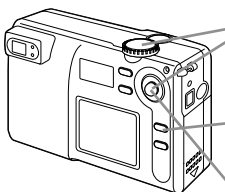
## プロテクトをかける

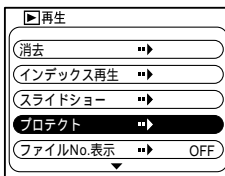
**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせ、プロテクトをかけたい画像を表示させます。**

**2. メニューボタンを押します。**

**3. 十字キーの上下で「プロテクト」を選びます。**

**4. 十字キーの右側を押します。**

● プロテクトの確認画面が現れます。

**5. 十字キー中央の実行ボタンを押します。**

● 表示されていた画像にプロテクトがかかり、画面左下に が表示されます。

●「いいえ」を選んで中央の実行ボタンを押すと、プロテクトされません。

● プロテクトをかけた画像は、1コマ消去でも全コマ消去でも消去されません。全コマ消去すると、プロテクトのかかっていない画像のみすべて消去されます。

● フォーマット（→P.64）を行なうと、プロテクトをかけた画像も消去されます。

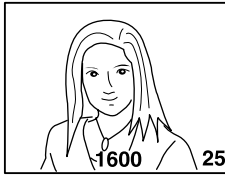
## プロテクトを外す

**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせ、プロテクトを外したい画像を表示させます。**

**2. メニューボタンを押します。**

**3. 十字キーの上下で「プロテクト」を選びます。**

**4. 十字キーの右側を押します。**

● プロテクトの確認画面が現れます。

**5. 十字キーの右側で「いいえ」を選びます。**

**6. 十字キー中央の実行ボタンを押します。**

● 表示されていた画像のプロテクトが外れ、画面左下の が消えます。

大事な画像を残す

# ファイルNo.表示

再生画像にファイルNo.（ファイルナンバー）を表示することができます。ファイルNo.とはプリント指定（→次ページ）に必要な番号で、カード内のフォルダ番号とファイル番号から成り立っています。

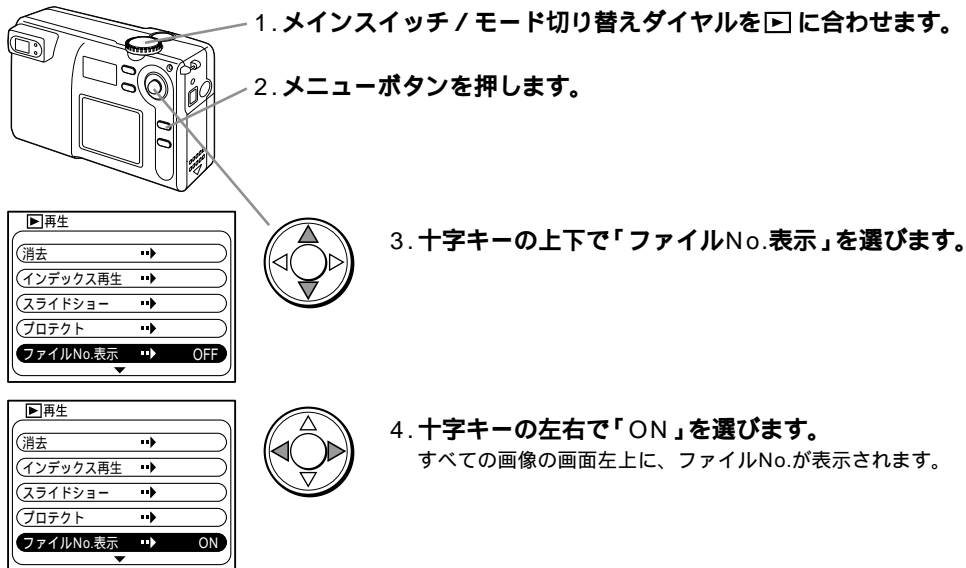
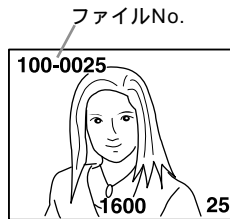
ファイルNo.

例：100 - 0025
フォルダ番号　ファイル番号

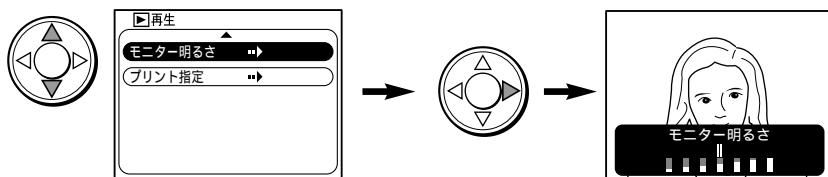
**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせます。**

**2.メニューボタンを押します。**

**3.十字キーの上下で「ファイルNo.表示」を選びます。**

**4.十字キーの左右で「ON」を選びます。**
● すべての画像の画面左上に、ファイルNo.が表示されます。

● ファイルNo.の表示を止めるときは、上記の要領で「OFF」を選んでください。

# 液晶モニターの明るさを調整する

オート撮影での液晶モニターの明るさ調整（→P.34）と同一の機能です。▶（再生）時に調整するときは、メニューボタンを押した後、十字キーの上下で「モニター明るさ」を選び、十字キーの右側で明るさ調整画面を表示させてください。それ以外はオート撮影時の明るさ調整と同じです。

# プリント指定

このカメラでプリント指定したカードを、DPOF*対応のプリント店に渡せば、画像のプリントをしてもらうことができます。どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめカメラで指定しておくことができます。
同様に、DPOF対応のプリンタにカードをセットすると、パソコンを介さずに直接画像をプリントすることができます。この場合も、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめカメラで指定しておくことができます。

*DPOF＝ディーポフ、Ditigal Print Order Formatの略。SDメモリーカード等のメディアに入っているデータのうち、どれを印刷するのかを指定する方法。

## プリントする画像を選ぶ

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを▶に合わせます。**

**2.メニューボタンを押します。**

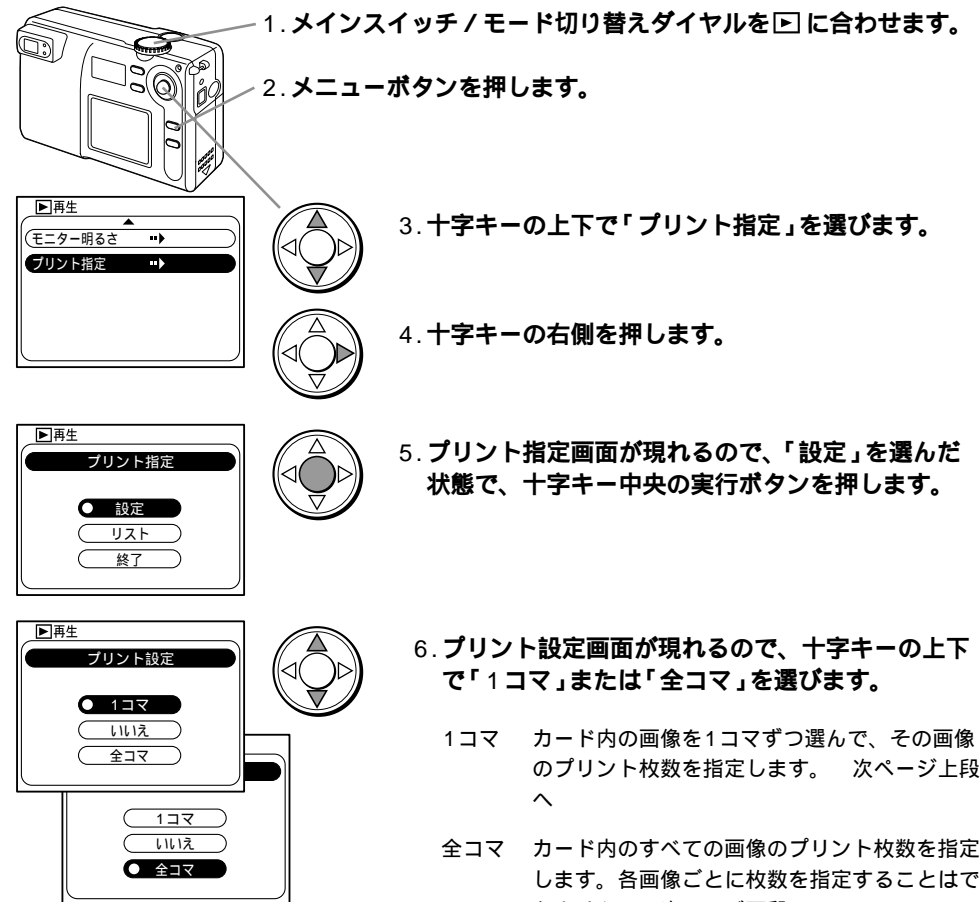
**3.十字キーの上下で「プリント指定」を選びます。**

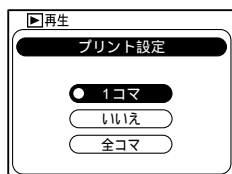
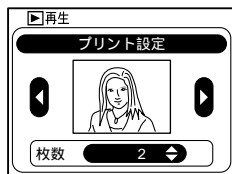
**4.十字キーの右側を押します。**

**5.プリント指定画面が現れるので、「設定」を選んだ状態で、十字キー中央の実行ボタンを押します。**

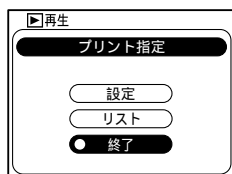
**6.プリント設定画面が現れるので、十字キーの上下で「1コマ」または「全コマ」を選びます。**

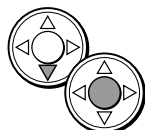
1コマ　カード内の画像を1コマずつ選んで、その画像のプリント枚数を指定します。→次ページ上段へ

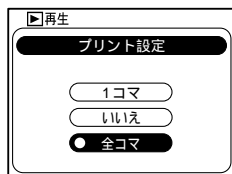
全コマ　カード内のすべての画像のプリント枚数を指定します。各画像ごとに枚数を指定することはできません。→次ページ下段へ

●「いいえ」を選んで十字キー中央を押すと、通常の再生画面に戻ります。

## プリントする画像を選ぶ（続き） ─ 1コマプリント指定

**7.「1コマ」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押します。**

**8.十字キーの左右でプリント指定する画像を選び、上下でプリント枚数を選びます。**

●プリント枚数として指定できるのは、0～99枚です（0枚だとプリントされません）。

●必要なだけこの操作を繰り返してください。

**9.必要なプリント指定をすべて行なってから、十字キー中央の実行ボタンを押します。**

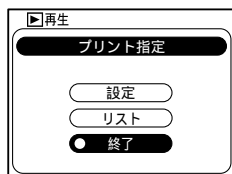
●4のプリント指定初期画面に戻ります。

**10.十字キーの下側で「終了」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押します。**

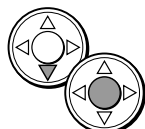
## プリントする画像を選ぶ（続き） ─ 全コマプリント指定

**7.「全コマ」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押します。**

**8.十字キーの上下でプリント枚数を選びます。**

●プリント枚数として指定できるのは、0～99枚です（0枚だとプリントされません）。

●カード内に100枚以上の画像がある場合は、全コマプリント指定はできません。「101コマ以上は選択できません」のメッセージが現れます。

●十字キーの右側で「キャンセル」を選んで中央を押すと、4のプリント指定初期画面に戻ります。

**9.十字キー中央の実行ボタンを押します。**

●4のプリント指定初期画面に戻ります。

**10.十字キーの下側で「終了」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押します。**



## 画像を確認・決定する

前ページで指定した画像（ファイルNo.にて表示）と枚数をリストで確認し、決定します。

**11.十字キーの上下で「リスト」を選びます。**

**12.十字キー中央の実行ボタンを押します。**

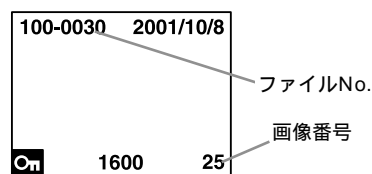
●指定した画像のファイルNo.と枚数がリストになって表示されます。画像が4つ以上のときは、十字キーの上下で確認できます。

**13.十字キーの右側で「決定」を選び、中央の実行ボタンを押します。**

●指定した画像のファイルNo.と枚数が、カードに記録されます。

**14.「終了」を選んだ状態で、十字キー中央の実行ボタンを押します。**

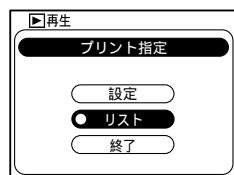
●動画のプリント指定はできません。

### ファイルNo.と画像番号

画像の識別には、画像番号とファイルNo.の2つがあります。画面右下の画像番号はカード内の画像の通し番号で、常に表示されています。画面左上はプリント指定用ファイルNo.で、メニューで設定したときのみ表示されます（→P.56）。

画像番号もファイルNo.も、撮影するたびに1つずつ増えて行きます。途中の画像を消去すると、それより後で撮影した画像の画像番号は1つずつ前に詰められますが、ファイルNo.は固定されていて変わりません。よって途中の画像の消去を行なうと、画像番号とファイルNo.にずれが生じます。ファイルNo.メモリ（→P.66）をOFFにしてカードのフォーマットや全消去を行なうと、両者とも再び1からカウントされます。

## プリント指定の取り消し

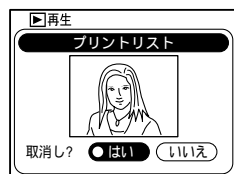
一度指定したプリントを取り消すことができます。1コマずつ取り消す方法と、全部のコマを一度に取り消す方法があります。

**1. P.57の1〜4の要領で、プリント指定画面を表示させます。**

**2. 十字キーの上下で「リスト」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押します。**
- 現在設定されているプリント指定のリストが表示されます。

## プリント指定の取り消し（続き） ― 1コマずつの取り消し

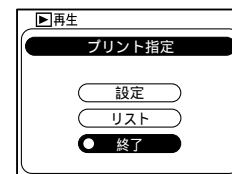
**3. 十字キーの上下で、プリント指定を取り消す画像を選びます。**
- 赤字で表示されているのが選択されている画像です。

**4. 十字キー中央の実行ボタンを押します。**

- プリント指定取り消しの確認画面が現れ、該当する画像が表示されます。

**5. 十字キーの左側で「はい」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押します。**
- 3の画面に戻ります。選んだ画像のプリント指定が取り消しされ、リストから外されています
- 「いいえ」を選んで十字キー中央を押すと、プリント指定は取り消しされません。

**6. 必要なだけ3〜5の操作を繰り返します。**



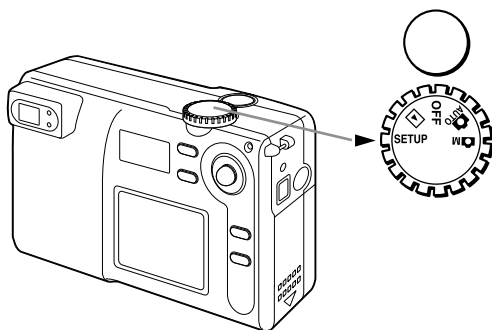
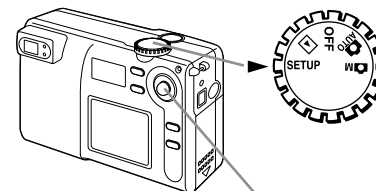
**7. 必要なだけ取り消しが終了したら、十字キーの右側で「決定」を選び、中央の実行ボタンを押します。**
- 指定した画像のプリント指定が取り消しされます。

**8. 「終了」を選んだ状態で、十字キー中央の実行ボタンを押します。**

## プリント指定の取り消し（続き） ― 全コマ取り消し

**3. 十字キーの左側で「全コマ取り消し」を選び、十字キー中央の実行ボタンを押します。**
- 指定した画像のプリント指定が取り消しされます。

**4. 「終了」を選んだ状態で、十字キー中央の実行ボタンを押します。**

# セットアップ

この章では、カメラのメインスイッチ／モード切り替えダイヤルをSET UP位置にしたときのさまざまな機能について説明しています。

# セットアップメニュー

SET UP（セットアップ）時のメニュー操作方法は以下の通りです。

**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをSETUPに合わせます。**

**2. 十字キーの上下で設定したいメニューを選びます。**

● 以下の通りにメニューが切り替わります。

フォーマット →P.64
セルフタイマー →P.65
オートパワーオフ →P.65
ファイルNo.メモリ →P.66
ビープ音 →P.66
撮影レビュー →P.67
日時設定 →P.68
言語 →P.69

**3. 十字キーの右側で希望の設定を選びます。**

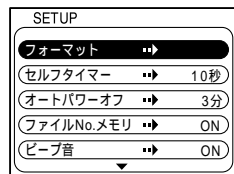
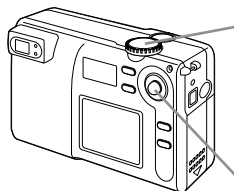
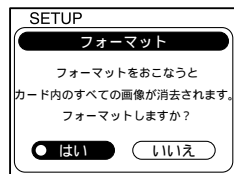
● 選んだ時点で設定は決定されています。終了するときは、他のメニューに移るか、ダイヤルをSETUP以外に合わせてください。
● 複数のメニューを設定するときは、2、3の操作を繰り返します。

● 設定されたメニュー内容は、メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFにしても保存されています。

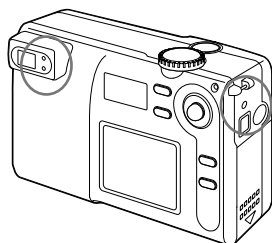
# カードをフォーマット（初期化）する

カード内の画像をすべて消去するときには、フォーマット（初期化）が便利です。フォーマットにより、カードはご購入時の状態に戻ります。

**フォーマットを行なうと、プロテクトをかけた画像も含めてすべての画像が消去されます。**

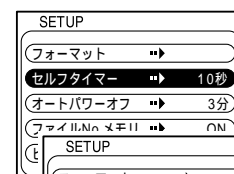
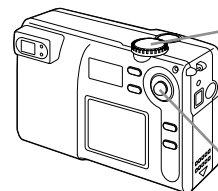
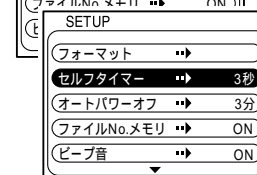
**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをSET UPに合わせます。**

**2.「フォーマット」が選択されているのを確認して、十字キーの右側を押します。**

**3. フォーマット画面が現れるので、十字キーの左側で「はい」を選びます。**

**4. 十字キー中央の実行ボタンを押します。**

● カードのフォーマットが行われます。

● フォーマット中は、ファインダー横の緑ランプと赤ランプ、およびカメラ側面のアクセスランプが点灯します。点灯中はカードを抜かないでください。

# セルフタイマーの時間を変更する

セルフタイマーの時間を10秒（初期設定）から3秒に変更することができます。

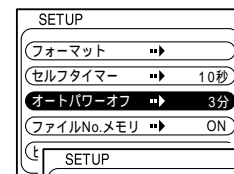
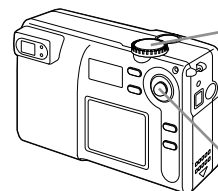
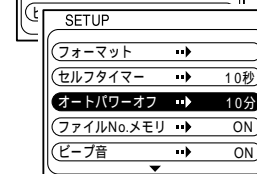
**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをSET UPに合わせます。**

**2. 十字キーの上下で「セルフタイマー」を選びます。**

**3. 十字キーの左右で希望の時間を選びます。**

● 選んだ時点で設定は決定されています。終了するときは、他のメニューに移るか、ダイヤルをSETUP以外に合わせてください。

# オートパワーオフまでの時間を変更する

初期設定では、約3分以上何も操作をしないでいると、節電のため自動的に電源が切れ、データパネルの表示も消灯します（オートパワーオフ）。この時間を10分に延長したり、オフにする（電源が切れない状態にする）ことができます。

● 撮影時、液晶モニターは約1分以上操作をしないと自動的に消灯します。この時間の変更はできません。

**1. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをSET UPに合わせます。**

**2. 十字キーの上下で「オートパワーオフ」を選びます。**

**3. 十字キーの左右で希望の時間を選びます。**

● 選んだ時点で設定は決定されています。終了するときは、他のメニューに移るか、ダイヤルをSETUP以外に合わせてください。

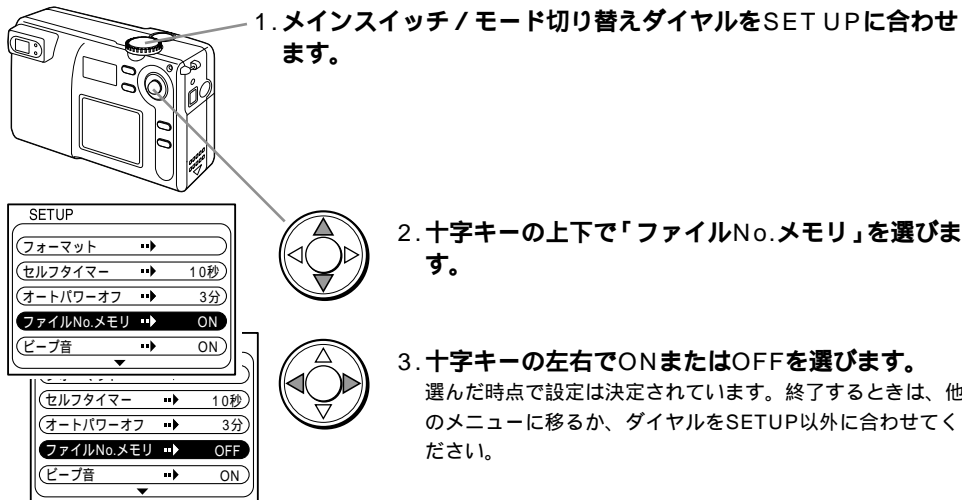
● オートパワーオフを「OFF」に設定しても、実際は数時間後には自動的にデータパネルが消灯します。

# ファイルNo.メモリ

**初期設定ではファイルNo.のメモリはONになっており、カードの入れ替えや全消去を行なっても、ファイルNo.は続きで進んで行きます。ファイルNo.のメモリをOFFにし、カードの入れ替えや全消去を行なうと、ファイルNo.は再び0001から始まります（カードの入れ替えで、新しいカードにすでにこのカメラで撮影した画像が存在する場合は、すでにあるファイルNo.の続きから始まります）。**

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをSET UPに合わせます。**

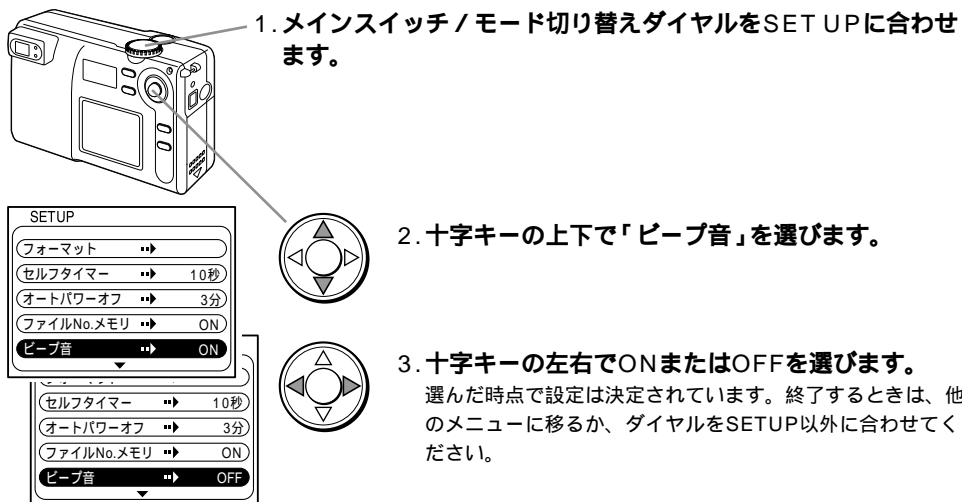
**2.十字キーの上下で「ファイルNo.メモリ」を選びます。**

**3.十字キーの左右でONまたはOFFを選びます。**
- **選んだ時点で設定は決定されています。終了するときは、他のメニューに移るか、ダイヤルをSETUP以外に合わせてください。**

# 音を鳴らさないようにする

**ダイヤルを回したときやシャッターを切ったときに出る音（ビープ音）を消すことができます。**

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをSET UPに合わせます。**

**2.十字キーの上下で「ビープ音」を選びます。**

**3.十字キーの左右でONまたはOFFを選びます。**
- **選んだ時点で設定は決定されています。終了するときは、他のメニューに移るか、ダイヤルをSETUP以外に合わせてください。**



# 撮影直後に画像を確認する（撮影レビュー）

**撮影直後に、撮影した画像が約3秒間液晶モニターに表示されます。撮影後すぐに画像を確認したり消去したりすることができます。**

## 設定方法

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをSET UPに合わせます。**

**2.十字キーの上下で「撮影レビュー」を選びます。**

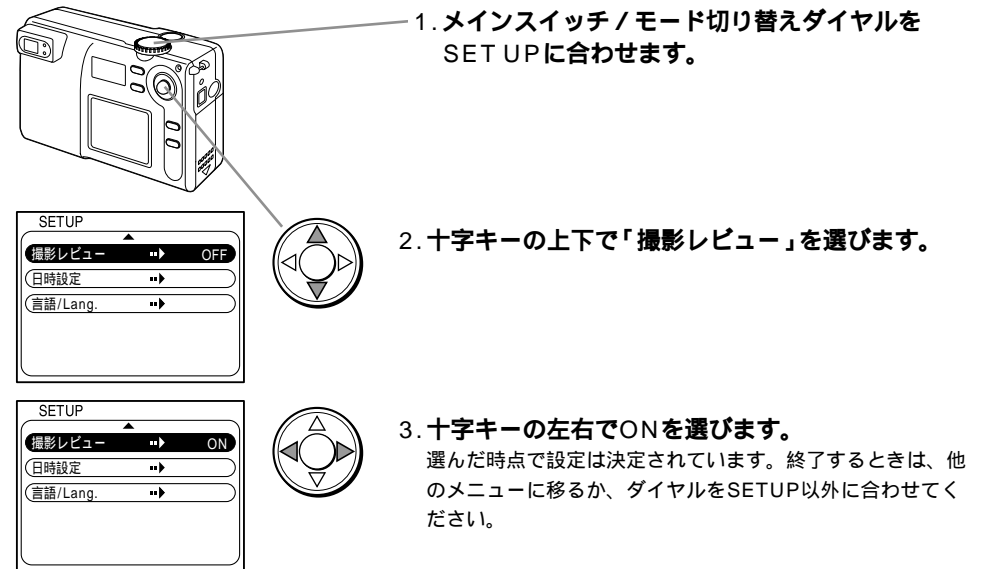
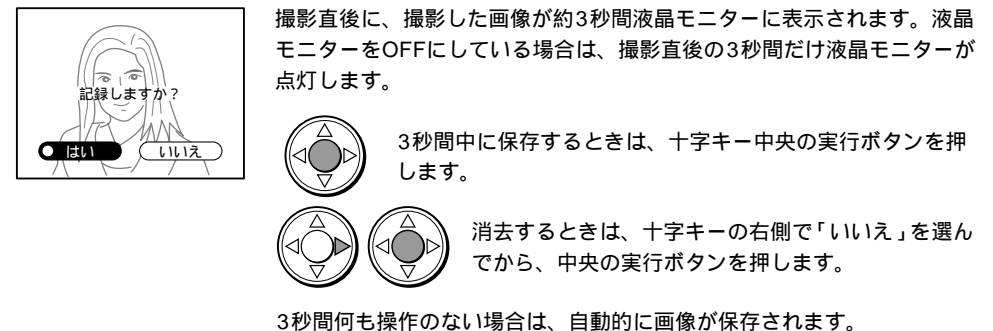
**3.十字キーの左右でONを選びます。**
- **選んだ時点で設定は決定されています。終了するときは、他のメニューに移るか、ダイヤルをSETUP以外に合わせてください。**

## 操作方法

**撮影直後に、撮影した画像が約3秒間液晶モニターに表示されます。液晶モニターをOFFにしている場合は、撮影直後の3秒間だけ液晶モニターが点灯します。**

**3秒間中に保存するときは、十字キー中央の実行ボタンを押します。**

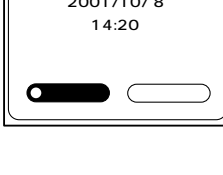
**消去するときは、十字キーの右側で「いいえ」を選んでから、中央の実行ボタンを押します。**

**3秒間何も操作のない場合は、自動的に画像が保存されます。**

# 日時を設定する

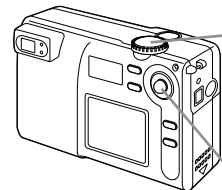
日付と日時を変更することができます。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを SET UPに合わせます。**

**2.十字キーの上下で「日時設定」を選びます。**

**3.十字キーの右側を押します。**

●日時設定画面が現れます。

**4.十字キーの上下で変更したい項目を選び、十字キーの左右で数値を変更します。**

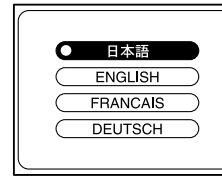
●必要なだけこの操作を繰り返してください。

**5.十字キー中央の実行ボタンを押します。**

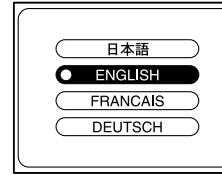
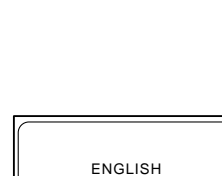
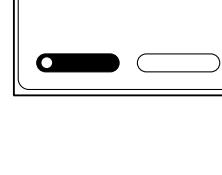
**6.日時設定の確認画面が現れたら、「はい」を選んで再度十字キー中央の実行ボタンを押します。**

●終了するときは、他のメニューに移るか、ダイヤルをSETUP以外に合わせてください。

●「いいえ」を選んで実行ボタンを押すと、設定した日時はキャンセルされます。



# 言語を設定する

メニューの表示言語を、4カ国語の中から選ぶことができます。

**1.メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを SET UPに合わせます。**

**2.十字キーの上下で「言語/Lang.」を選びます。**

**3.十字キーの右側を押します。**

●言語設定画面が現れます。

**4.十字キーの上下で希望の言語を選びます。**

●上から順に、日本語、英語、フランス語、ドイツ語が選択できます。

**5.十字キー中央の実行ボタンを押します。**

**6.言語設定の確認画面が現れたら、十字キーの左側で「はい」を選び、中央の実行ボタンを押します。**

●選択した言語にメニューが変更されます。

●「いいえ」を選んで実行ボタンを押すと、設定した言語はキャンセルされます。

# パソコンで画像を見る

パソコンをお持ちの場合、撮影した画像をパソコンに取り込み、保存等行なうことができます。



## 動作環境

以下のパーソナルコンピュータ（以下パソコン）をお持ちの場合、付属のUSBケーブルでカメラをパソコンに接続して、画像をパソコンに取り込むことが可能です。

| コンピュータ | IBM PC/AT互換機またはNEC PC-98NX | Apple Macintosh |
|---|---|---|
| OS | Windows Me、2000 Professional、Windows 98、98 Second Editionがプリインストール済み | Mac OS 9.0～9.1<br>CPUはPower PC搭載 |
| その他 | CD-ROMドライブ装備<br>USBポート標準装備 | CD-ROMドライブ装備<br>USBポート標準装備 |

- プリインストールとは、お買い上げ時にすでにインストールされている状態のことを指します。例えばWindows 95から98にアップグレードしたものは動作保証対象外です。
- Mac OS Xについては、バージョン10.0.3にて動作確認済みです。
- ハブ接続した場合は、正常に動作しない場合があります。そのような場合は、パソコン本体のUSB端子に直接接続してください。
- 自作機、ショップブランドなどの各種ボード類を含めて組み立てられた機種は除きます。
- Windows 95やNT4.0、Mac OS 8.6は、USB接続は動作保証対象外ですが、市販のPCカードアダプタ等を用いて、カードの画像を直接パソコンで読み取ることは可能です。

お持ちのパソコンにより、画像を表示させる方法は異なります。

### Windows MeまたはWindows 2000の場合

静止画を見る場合は、そのままカメラに接続してお使いになれます。→P.74
動画を見る場合は、QuickTimeが必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMよりインストールを行なってください。→P.79

### Windows 98または98SEの場合

付属のCD-ROMから、パソコンにドライバをインストールする必要があります。その後カメラに接続してお使いください。→P.72、74
動画を見る場合は、さらにQuickTimeが必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMよりインストールを行なってください。→P.79

### Macintoshの場合

そのままカメラに接続してお使いになれます。→P.74

# ドライバのインストール（Windows 98/98SEのみ）

Windows 98／98 Second Editionをお使いの場合、付属のDiMAGE E203用ソフトウェアCD-ROMから、パソコンにドライバをインストールする必要があります。

● インストールの際には、別売りのACアダプターAC-3の使用をおすすめします。ACアダプターを使用しない場合は、電池の容量が十分残っているか確認してから行なってください。

**1.パソコンの電源を入れます。**

**2.付属のUSBケーブルの小さい方のコネクタをカメラのUSB端子に、大きいほうのコネクタをパソコン本体のUSBポートに差し込みます。**

● 奥まで確実に差し込んでください。

● USB接続は、接続する際にはカメラやパソコンの電源を入れたまま行なうことができますが、取り外す際にはP.76の指示にしたがってください。

**3.カメラのメインスイッチ／モード切り替えダイヤルを[AUTO]、[M]または[▶]位置に合わせます。**

**4.「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されたら、［次へ>］をクリックします。**

**5.［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ>］をクリックします。**



**6.DiMAGE E203用ソフトウェアCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

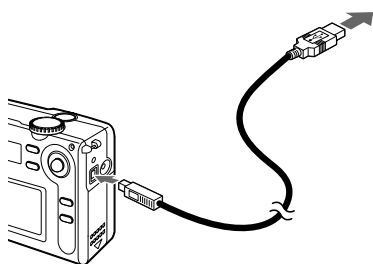
**7.［CD-ROM］を選択し、［次へ>］をクリックします。**

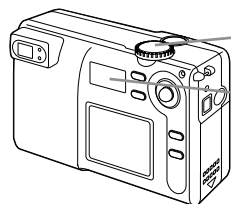
**8.［次へ>］をクリックします。**

**9.インストールが完了すると、［完了］をクリックします。**

● お使いのパソコンの環境によっては、インストール中にWindowsシステムCD-ROMをセットするメッセージが表示されることがあります。この場合はディマージュソフトウェアCD-ROMをWindowsシステムCD-ROMに差し替え、メッセージに従って操作してください。

# 画像をパソコンで開ける

**1.パソコンの電源を入れます。**

**2.カードスロットふたを開け、付属のUSBケーブルの小さい方のコネクタをカメラのUSB端子に、大きいほうのコネクタをパソコン本体のUSBポートに差し込みます。**

- 奥まで確実に差し込んでください。
- USB接続は、接続する際にはカメラやパソコンの電源を入れたまま行なうことができますが、取り外す際にはP.76の指示にしたがってください。

**3.カメラのメインスイッチ／モード切り替えダイヤルを AUTO 、M または ▶ 位置に合わせます。**

- データパネルに「PC」と表示されます。

**4.カードとフォルダを開けます。**

Windowsでは、カードがマイ コンピュータ上に「リムーバブルディスク」として現れます。ダブルクリックすると開けることができます。

Macintoshでは、カードがデスクトップ上に「名称未設定」として現れます。ダブルクリックすると開けることができます。

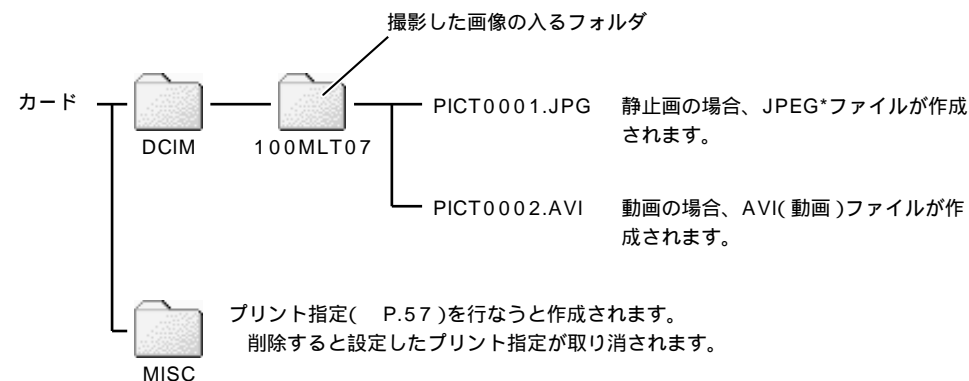
カードのアイコンを開け、中の[DCIM]フォルダ、続いて[100MLT07]フォルダをダブルクリックで開けます。
画像名は、以下の通りに表されます。

例：PICT 0001 .JPG
- 拡張子（ファイルの種類を識別する部分）：.JPG
- ファイル番号（ファイルNo.の右4桁と同一）：0001

PICTの後の4桁のファイル番号は、撮影するたびに1つずつ増えて行きます。カメラ側で消去された画像の番号は欠番となります。

- お使いのパソコンの設定によっては、拡張子が表示されない場合があります。



カード内のフォルダとファイルの構成は以下の通りです。

*JPEG（ジェイペグ）
写真データとして最も一般的なファイル形式で、オリジナルの画像を効率良く圧縮して容量を小さくしたものです。このカメラで撮影した静止画はすべてJPEG形式で記録されます。

**5.ファイルを開けます。**

見たい画像をダブルクリックして開けます。

**静止画（JPEG）の場合**
一般的な画像表示ソフト等で開くことができます。お持ちでない場合は付属のCD-ROM内のPhotoImpressionをインストールしてお使いください。→P.78

**動画の場合**
再生するにはQuickTime等の動画再生ソフトが必要です。Windowsで、お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のQuickTimeをインストールしてお使いください。→P.79

- Macintoshの場合、通常QuickTimeはインストール済みですので、そのままで動画再生が可能です。

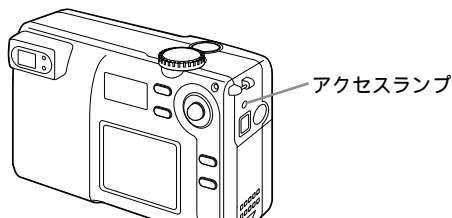
保存するときは、ドラッグアンドドロップで任意の場所にコピーしてください。

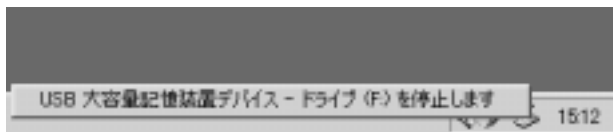
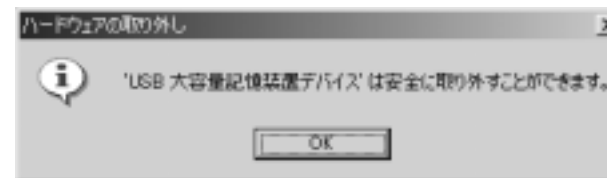


次ページに続く

● パソコン接続中は、オートパワーオフまでの時間は自動的に30分になります。30分間操作をしないと自動的にカメラがOFFになり、パソコンによっては「デバイスを停止させないで取り外しました」等のメッセージが出ることがあります。必要な画像をパソコンに取り込んだ後は、接続を解除することをおすすめします。
なおカメラがOFFになった後再接続する場合は、メインスイッチ／モード切り替えダイヤルを一度OFFにしてから、他の位置に合わせてください。
● カードに該当するアイコンが表示されない場合は、パソコンを再起動してください。
● カメラをパソコンに接続して作業を行なう場合は、カメラの電池容量に注意してください。データ交信中に電池がなくなると、パソコンのエラーやカード内の画像データ破損の原因となります。別売りのACアダプターの使用をおすすめします。
● カメラとパソコンを接続しているとき、特にデータの交信中（アクセスランプおよび緑・赤ランプの点灯中）には、以下の操作はしないでください。パソコンのエラーや、カード内の画像データ破損の原因となります。
・カメラのメインスイッチ／モード切り替えダイヤルを動かす。
・USBケーブルを取り外す。
・カードスロットふたを開ける。
● パソコンでカードのフォーマットをしないでください。フォーマットはカメラ側で行なってください。→P.64
● パソコンでカード内の画像データのファイル名を変更したり、カメラによる画像データ以外のデータを書き込んだりしないでください。カメラで再生できないだけでなく、カメラの機能に支障をきたすことがあります。
● "PICT9999"まで進むと新たなフォルダが自動的に作成され（101MLT07、102MLT07・・・）、その中で再び"PICT0001"から画像の記録が開始されます。

## USBケーブルの取り外し・接続中のカードの交換

USBケーブルを取り外す場合や、パソコンに接続した状態でカメラ内のカードを交換する場合は、先に以下の操作を行なってください。

### Windows Meまたは2000の場合

1. カメラのアクセスランプが点灯していないことを確認します。
2. タスクバー（パソコンの画面右下）に表示されている［ハードウェアの取り外しまたは取り出し］のアイコンを左クリックします。

3. ［USBディスクの停止］（Windows Me）または［USB大容量記憶装置デバイスを停止します］（Windows 2000）を左クリックします。

4. 安全に取り外しできるというメッセージが現れたら、［OK］をクリックします。
5. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFにします。
6. USBケーブルを取り外します。（またはカードを交換します。）

● 前ページの2で、アイコンの左クリックの代わりに、ダブルクリックまたは右クリックも可能です。以下の手順に沿ってください。
1. ハードウェアの取り外し画面が現れたら、USBを選択して［停止］をクリックする。
2. ハードウェア デバイスの停止画面が現れたら、カメラを選択して［OK］をクリックする。
3. 安全に取り外しできるというメッセージが現れたら、［OK］をクリックする。
4. USBケーブルを取り外す、またはCFカードを交換する。

### Windows 98または98 Second Editionの場合

1. カメラのアクセスランプが点灯していないことを確認します。
2. メインスイッチ／モード切り替えダイヤルをOFFにします。
3. USBケーブルを取り外します。（またはカードを交換します。）

### Macintoshの場合

1. カメラのアクセスランプが点灯していないことを確認します。
2. カードのアイコンをゴミ箱へ移します。
3. USBケーブルを取り外します。（またはカードを交換します。）

# PhotoImpressionのインストール

付属のフォトレタッチソフトPhotoImpression（フォトインプレッション）をインストールして、画像を表示することができます。

## 動作環境

| コンピュータ | IBM PC/AT互換機またはNEC PC-98NX | Apple Macintosh |
|---|---|---|
| OS | Windows Me、2000、98、98SE、95、NT | Mac OS 8.5〜9.1 |
| CPU | Pentium以上 | Power PC |
| メモリ | 32MB以上 | 32MB以上（64MB以上を強く推奨） |
| 空きﾃﾞｨｽｸ容量 | 125MB以上 | 120MB以上 |
| ディスプレイ | 32000色以上 | 32000色以上 |
| その他 | CD-ROMドライブ、マウス | CD-ROMドライブ、マウス |

## インストール方法 ─ Windowsの場合

1. パソコンの電源を入れます。
2. CD-ROMドライブにPhotoImpressionのCD-ROMをセットします。
3. セットアッププログラムが自動的に起動するので、後は画面の指示に従ってください。

● セットアッププログラムが自動的に起動しない場合は、［スタート］→［ファイル名を指定して実行（R）…］を選び、［参照（B）…］をクリックします。ファイルの場所を指定する画面が現れるので、［CD-ROMドライブ］→［SETUP.EXE］の順に選び、［開く］をクリックしてください。

## 立ち上げ方 ─ Windowsの場合

［スタート］→［プログラム（P）］→［ArcSoft PhotoImpression］→［PhotoImpression 3.0］を選択します。
● メイン画面が現れます。

## インストール方法 ─ Macintoshの場合

1. パソコンの電源を入れます。
2. CD-ROMドライブにPhotoImpressionのCD-ROMをセットします。
3. CD-ROMのアイコンがデスクトップに現れたら、ダブルクリックして開けます。
4. ［Japanese］フォルダをダブルクリックして開きます。
5. ［PhotoImpression Installer］のアイコンをダブルクリックします。後は画面の指示に従ってください。

## 立ち上げ方 ─ Macintoshの場合

1. インストールした［PhotoImpression］フォルダをダブルクリックして開けます。
2. ［PhotoImpression］をダブルクリックして立ち上げます。
● メイン画面が現れます。



## 操作方法

操作方法については、ソフトを立ち上げた後、PhotoImpressionのヘルプ?をご覧ください。
※ArcSoft社ホームページ　http://www.mds2000.co.jp/arcsoft/

ここをクリックするとヘルプが表示されます。

# QuickTimeのインストール（Windowsのみ）

動画の再生にはQuickTime等の動画再生ソフトが必要です。Windowsで、お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールしてください。
● Macintoshの場合、通常はQuickTimeはインストール済みですので、そのままで動画再生が可能です。

**動作環境**
● Pentiumプロセッサを搭載したPC互換コンピュータ
● 32MB以上のメモリ（RAM）
● Windows 95/98/NT/Me/2000オペレーティングシステム
● Sound Blasterおよびその互換サウンドカード、スピーカー
● DirectXバージョン3.0以降推奨

## インストール方法

1. パソコンの電源を入れ、DiMAGE E203用ソフトウェアCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. ［QuickTime］フォルダをダブルクリックして開きます。
3. ［Japanese］フォルダをダブルクリックして開きます。
4. ［QuickTime Installer.exe］アイコンをダブルクリックします。
● 下のQuickTimeインストール画面が開きます。

5. 画面の指示に従ってインストールを行ないます。

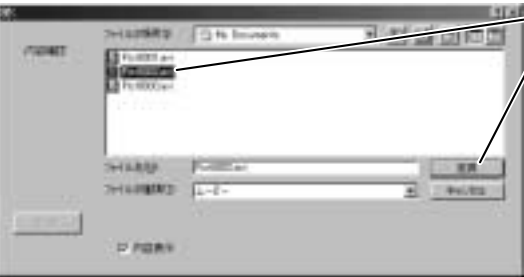
次ページに続く

PhotoImpression
QuickTime

## 操作方法

**1. QuickTimeを立ち上げます。**

● QuickTime Playerのアイコンをダブルクリックするか、画面左下の［スタート］から［プログラム（P）］→［QuickTime］→［QuickTime Player］を選択します。

**2.［ファイル（F）］から［ムービーを開く…（O）］を選択します。**

**3.再生したい動画を選択し、［変換］をクリックします。**

**4.動画ファイルを再生します。**

操作方法について、詳しくはヘルプをご覧ください。



# その他

## あれ？と思ったときは

故障かな？と思ったときは、次のことを調べてみてください。それでも調子が悪いときや分からないときは、裏表紙記載の弊社フォトサポートセンターにお問い合わせください。

| 症状 | 原因 | 対策 | ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|---|---|
| 電池の消耗が早い | アルカリ電池を使用している | リチウム電池またはニッケル水素電池の使用をおすすめします。 | — |
| | ニッケル水素電池を充電せずに使っている | ニッケル水素電池は指定の充電器でフル充電してからお使いください。 | — |
| 撮影ができない | SDメモリーカードが書き込み禁止になっている | 撮影する場合は、ライトプロテクトスイッチを解除してください。 | 18 |
| | セルフタイマー撮影になっている | セルフタイマー撮影以外のときは解除してください。 | 30 |
| 撮影・再生ができない | 電池が消耗している | 電池を交換してください。 | 17 |
| | パワーセーブが作動した | （初期設定では）約3分間以上何も操作をしないでいると、自動的にカメラの電源がOFFになります。 | 17 |
| | カメラがパソコンに接続されている | パソコンに接続されている間は、撮影や再生はできません。 | — |

| 症状 | 原因 | 対策 | ﾍﾟｰｼﾞ |
|---|---|---|---|
| 000が点滅し、シャッターが切れない | カードが入っていない | カードを入れてください。 | 18 |
| | カードがいっぱいである | 画像を消去するか、カードを交換してください。 | 22 |
| 0が表示されシャッターが切れない | カードがいっぱいである | 画像サイズを小さくする、画像を消去する、カードを交換する、のいずれかを行なってください。 | 22 |
| 液晶モニターが点灯しない | 液晶モニターボタンを押していない | 撮影時に液晶モニターを使うときは、液晶モニターボタンを押してください。 | 23 |
| 液晶モニターがすぐ消灯する | 1分以上何も操作をしないでいると、節電のため自動的に液晶モニターは消灯します。 | | 17 |
| 緑ランプが点灯しない（＝ピントが合わない） | オートフォーカスの苦手な被写体（P.26）を撮ろうとしている | 被写体と同じ距離にあるピントの合わせやすいものにピントを合わせて、フォーカスロック撮影を行なってください。 | 26 |
| | 被写体に近づき過ぎている | カメラより約80cm以上離れたものにしかピントが合いません。約25～80cmの距離のものを撮影するときは、マクロ撮影を行なってください。それ以上近くは撮影できません。 | 33 |
| | レンズが汚れている | レンズ前面を清掃し、撮影時にはレンズ面に触れないようにしてください。 | 85 |
| フラッシュ撮影したものが全体的に暗い | フラッシュ光の届く範囲で撮影しなかった | フラッシュ撮影時は、フラッシュ光の届く範囲内で撮影してください。 | 25 |
| 写真がブレている | 暗いところでフラッシュを使わずに撮影したので、手ブレを起こした | シャッター速度が遅くなるので、三脚を使用してください。フラッシュを使う方法もあります。 | − |
| 光源や光がにじんだり、きれいに再現されない | レンズが汚れている | レンズ前面を清掃し、撮影時にはレンズ面に触れないようにしてください。 | 85 |
| パソコンに接続できない | カメラにカードが入っていない | カードが入っていなければ接続できません。 | − |
| 「Err」が表示される、警告音と共に赤ランプが点滅する、またはカメラが正常に作動しない | レンズを押さえたままカメラのメインスイッチを回した | メインスイッチをいったんOFFにして、レンズに触れないように注意しながらOFF以外の位置に合わせてください。 | − |
| | カメラの電源をOFFにして電池を一度取り出し、入れ直してください。ACアダプター等使用時は、一度コードを抜いてください。それでも直らない場合や何度も繰り返す場合は故障ですので、お買い求めの販売店または裏表紙記載の弊社フォトサポートセンターにご相談ください。 | | − |



# 取り扱い上の注意

## 電池について

- 電池の性能は低温になるほど低下します。低温下では、新品電池を使う、予備の電池を保温しておいて交互に使う、などに留意してご使用ください。
  ニッケル水素電池は低温での性能低下が少ないので、寒冷地ではニッケル水素電池の使用をおすすめします。また、低温のために性能が低下した電池でも、常温に戻せば性能は回復します。
- 長期間使用しないときは電池を抜き取ってください。入れたままにしておくと、液漏れにより電池室を損傷する原因となります。
- アルカリ乾電池の特性上、温度や保管のしかたによっては、実際の電池容量よりカメラの電池容量表示が低く表示されることがあります。このような場合でも、カメラをしばらく使用すると電池容量が回復し、正常な電池容量表示が行われます。
- いったん容量切れになった電池はかならず交換してください。容量切れ後、しばらく待って、わずかながら容量が回復した状態で再びカメラの電源を入れると、カメラが正常に作動しない場合があります。

## 使用温度について

- このカメラの使用温度範囲は5～40℃です。
- 直射日光下の車内など極度の高温下や、湿度の高いところに放置しないでください。
- カメラに急激な温度変化を与えるとカメラ内部に水滴を生じる危険性があります。スキー場のような寒い屋外から暖かい室内に持ち込む場合は、寒い屋外でカメラをビニール袋などに入れ、袋の中の空気を絞り出して密閉します。その後室内に持ち込み、周囲の温度に充分なじませてからカメラを取り出してください。

## プリント指定（DPOF）について

- 他のデジタルカメラでDPOF設定したカードをこのカメラに入れると、他のカメラでの設定はキャンセルされます。
- 他のDCF対応のデジタルカメラで撮影した画像の入ったカードをこのカメラに入れた場合、他のカメラで撮影した画像（他のDCF対応デジタルカメラによって作成されたフォルダ内の画像）に対してはDPOFの設定はできません。

## 液晶モニターについて

- 液晶モニターは精密度の高い技術でつくられていますが、極めてわずかながら画素欠けや常時点灯するものがあります。
- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒いところで使うと、始めは画面が通常より少し暗くなります。カメラ本体内部の温度が上がってくると、通常の明るさになります。
- 液晶表示は、低温下で反応がやや遅くなったり、高温下で表示が黒くなったりすることがありますが、常温に戻せば正常に作動します。
- 液晶モニターに指紋等が付着して汚れたときは、乾いた柔らかい布で、傷などがつかないよう軽くふいてください。

## SDメモリーカード・マルチメディアカードについて

●下記の場合、記録されたデータが消去（破壊）されたり、ることがあります。データの消去については当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。大切なデータは、別のメディア（ハードディスク等）にバックアップを取っておくことをおすすめします。
1. お客様または第三者がカードの使い方を誤ったとき
2. カードが静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
3. カードへのアクセス中（記録中、フォーマット中など）に、カードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
4. 長期間カードの書き換えがないとき
5. カードの耐用回数を超えて書き換えを行ったとき

●カードをフォーマット（初期化）すると、記録されているデータはすべて消去されます。必要なデータは必ずバックアップを取ってください。
●カードには寿命がありますので、長期間ご使用になるとデータの記録や再生ができなくなる場合があります。このときは新しいカードをお買い求めください。
●強い静電気や電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください
●曲げたり落としたり、強い衝撃や高熱を与えないでください。
●強い静電気や強い衝撃によってカードが破壊され、データの記録や再生ができなくなる場合があります。このときは新しいメディアをお買い求めください。
●端子部に手や金属で触れないでください。
●熱、水分、直射日光を避けて使用および保管してください。

## その他

●カメラに強い衝撃を与えないでください。
●バッグなどに入れて持ち運ぶときは、カメラの電源を切ってください。
●このカメラは防水設計にはなっていません。濡れた手で電池やカードの出し入れ、カメラの操作をしないでください。
海辺等で使用されるときは、水や砂がかからないよう特に注意してください。水、砂、ホコリ、塩分等がカメラに残っていると、故障の原因になります。
●直接太陽を撮影したり、直射日光の当たる場所に放置しないでください。CCD（撮像素子）の性能を損なうことがあります。
●あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合があります。なお、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する場合以外はご利用いただけません。



# 手入れと保管のしかた

## 手入れのしかた

●カメラの外側を清掃するときは、柔らかいきれいな乾いた布で軽くふいてください。砂がついたときは、こするとカメラに傷をつけますので、ブロアーで軽く吹き飛ばしてください。
●レンズ面を清掃するときは、ブロアブラシでホコリ等を取り除いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、レンズの中央から円を描くように軽くふいてください。レンズクリーナーを直接レンズ面にかけることはお避けください。
●シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含むクリーナーは絶対に使用しないでください。
●レンズ面に直接指で触れないでください。

## 保管のしかた

●涼しく、乾燥していて、風通しのよい、ホコリや化学薬品のないところに保管してください。長期間の保存には、密閉した容器に乾燥剤と一緒にいれるとより安全です。
●長期間使用しないときは、カメラから電池やカードを取り出してください。
●防虫剤の入ったタンスなどに保管しないでください。
●保管中も時々電源を入れて、シャッターを切るようにしてください。また、ご使用前には整備点検されることをおすすめします。

## 海外旅行や結婚式など大切な撮影のときは

●前もって作動の確認、またはテスト撮影をしてからご使用ください。また予備の電池を携帯することをおすすめします。
●万一このカメラを使用中に、撮影できなかったり、不具合が生じた場合の補償についてはご容赦ください。

## アフターサービスについて

●本製品の補修用性能部品は、生産終了後7年間を目安に保有しています。
●製品の修理に関しては、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせいただくか、修理依頼品を「アフターサービスのご案内」に記載のサービスセンター・サービスステーションにお持ち込みください。

# 主な性能

| | |
|---|---|
| 有効画素数 | 2.0百万画素 |
| 撮像素子 | 1/2.7型総画素2.1百万画素インターラインCCD原色フィルター |
| 撮像感度 | ISO 100相当 |
| レンズ構成 | 6群7枚（非球面2枚4面） |
| 絞り設定範囲 | 広角：F2.8～F5.6、望遠：F4.6～F9.2 |
| 焦点距離 | 5.4～16.2mm（35mmフィルム換算：35～105mm相当） |
| 撮影距離 | 通常：0.8m～∞、マクロ時：0.25～0.8m |
| 最大撮影倍率 | 0.0578（35mmフィルム換算で0.38倍相当） |
| フォーカス方式 | 映像AF方式 |
| 露出制御方式 | プログラムAE |
| 測光方式 | 中央重点測光、スポット測光 |
| 露出制御範囲 | 広角：EV2～16、望遠：EV3.4～17.4 |
| シャッター | CCD電子シャッターとメカニカルシャッター併用　シャッター速度：2～1/2000秒（2～1/8秒のスローシャッターがメニューで設定可） |
| ホワイトバランス | オート、昼光、白熱灯、蛍光灯、フラッシュ |
| 露出補正 | ±1.5EV（1/3EVステップ） |
| フラッシュ／撮影モード | 自動発光／赤目軽減自動発光／強制発光／夜景ポートレート／発光禁止／遠景・夜景／マクロ／セルフタイマー |
| フラッシュ連動距離 | 広角：約0.8～3.0m、望遠：約0.8～2.0m |
| ファインダー形式 | 実像式ズームファインダー |
| ファインダー倍率 | 0.41～1.08倍 |
| ファインダー視野率 | 約75%（3m） |
| 視度調整 | －1ディオプター（3m） |
| 記録媒体 | SDメモリーカード、マルチメディアカード（MMC）互換 |
| 記録形式 | Exif 2.1（JPEG）、Motion JPEG（AVI）　DCF 1.0準拠　DPOFのプリント機能に対応 |
| 記録画素数 | S：1600×1200、F：1280×960、E：640×480 |
| カラーモード | カラー、モノクロ |
| 消去機能 | あり（1コマ／全コマ） |
| フォーマット機能 | あり |
| 画像表示液晶 | 38mm（1.5インチ）TFTカラー |
| モニター画素数 | 11.8万画素 |
| セルフタイマー | 10秒／3秒切り替え可 |
| 動画 | 記録画素数：320×240、160×120、最大15秒 |
| デジタルズーム | 1.5倍、2倍 |

記録画素数

| | ×1.5 | ×2.0 |
|---|---|---|
| S | 1600 × 1200 | 1600 × 1200 |
| F | 1280 × 960 | 1280 × 960 |
| E | 640 × 480 | 640 × 480 |

| | |
|---|---|
| 操作音 | あり／なし切り替え可 |
| 使用電池 | リチウム電池CR-V3　単3形2本（アルカリ、ニッケル水素使用可） |
| 外部電源 | DC 3V（専用ACアダプター） |
| 連続動作時間 | 連続再生：約300分　当社試験条件による（リチウム電池CR-V3使用時） |
| 撮影可能コマ数 | 約330枚　当社試験条件による（液晶モニター表示あり、リチウム電池CR-V3使用時、フラッシュ50%、画像サイズS、撮影レビューなし） |



| | |
|---|---|
| PCインターフェース | USB 1.1（マスストレージクラス）　USBミニ端子（カメラ側専用端子） |
| 大きさ | 101.5 × 61.5 × 40 mm（突起部含まず） |
| 質量（重さ） | 約175g（電池、カード別） |

本書に記載の性能は当社試験条件によります。
本書に記載の性能および外観は、都合により予告なく変更することがあります。

**ミノルタ株式会社**
**ミノルタ販売株式会社**

**フォトサポートセンター**

弊社製品のカメラ、交換レンズ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、露出計など写真や画像に関わる製品の機能、使い方、撮影方法などのお問い合わせをお受けいたします。

**ナビダイヤル 0570-007111**
ナビダイヤルは、お客様が日本全国どこからかけても市内通話料金で通話していただけるシステムです。

**TEL 03-5351-9410**
携帯電話・PHS等をご使用の場合はこちらをご利用ください。

**FAX 03-3356-6303**

**受付時間 10：00～18：00（土・日・祝日定休）**

9223-2774-11 KR-A107